



東京科学大学 理工学系学生のための 留学のてびき 2026

問い合わせ先

国際教育課 | 大岡山キャンパス
Hisao & Hiroko Taki Plaza B1F

E-MAIL
studyabroad@adm.isct.ac.jp

ウェブサイト
<https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad>

Science Tokyo 海外留学

検索

本てびきの内容は、編集時点の情報です。
変更される場合がありますので、
最新の情報はウェブサイト等でご確認ください。



Beyond Borders Beyond Limits



Science Tokyo

から世界へ

「その一歩が、未来への自信！」

毎年約700名の本学学生が海外留学プログラムに参加しています！

CONTENTS

学生メッセージ p.03

- アントレプレナーシップ・グローバル海外研修
- TASTE海外短期語学学習
- Science Tokyo・AYSEAS
- IROP
- 派遣交換留学
- 東京科学大学・清華大学大学院合同プログラム

留学の準備 p.09

- 留学情報の収集
- 留学の目的
- 語学力
- 学業成績
- 留学資金の確保
- 学内でできる国際交流
- 留学に使える語学試験
- リベラルアーツ研究教育院外国語セクション
- アントレプレナーシップ教育
- グローバル教育オプション

留学プログラムの選択 p.13

- 行き先で選ぶ
- 期間・学年で選ぶ

留学プログラム p.17

- 短期海外研修
- 語学
- シーズンプログラム
- 交流
- 専門
- 研究
- ダブルディグリー
- インターンシップ
- コラム：留学と就職活動について
- 派遣交換留学

留学奨学金情報 p.37

- 留学する学生向けの奨学金
- 学位留学する学生を支援する奨学金

先輩からのメッセージ p.38

※本冊子においては、一部の国・地域について、一般に使われている呼称を習慣に従い使用しています。

p.03

学生メッセージ

p.09

留学の準備

p.13

留学プログラムの選択

p.17

留学プログラム

p.37

留学奨学金情報

p.38

先輩からのメッセージ

アントレプレナーシップ・グローバル海外研修

・・・

リンシェーピン大学 (KTH)
スウェーデン

未来の選択肢が増えた初めての海外留学



情報理工学院 情報工学系 比留川 明聖さん
留学時学年 学士課程2年 8～9月



Hirukawa Meisei

「海外に住んでみたい」を現実にする第一歩

小さい頃から「いつか海外で暮らしてみたい」と漠然と思っていたものの、実際に海外へ行った経験はありませんでした。だからこそ、このプログラムを知ったとき、「まずは海外の雰囲気や生活感を自分の目で確かめたい」と強く感じ、足を踏み出しました。スウェーデンを選んだ理由は、選択肢の中で最も安全そうで、思い描く“海外らしさ”に近いという「ふわっ」としたもので、初めての渡航先として、「自分が無理なく挑戦できそうだ」と思えたことが大きな決め手でした。

英語で受けた専門授業での気づき

KTH大学のAntonio (アントニオ) 先生による、生分解性プラスチックに関するレクチャーは、単に新しい素材をつくる研究ではなく、「これまでと同じような形の商品を作ること」という視点を重視していたことがとても印象的でした。後日、先生の授業を現地の大学院生と一緒に受ける機会にも恵まれました。内容はポリマーについてで、日常生活では触れることのない専門用語が次々と出てきましたが、なんとか理解しながらついていくことができました。本学でも授業を英語で受ける経験はありましたが、専門度の高い内容を英語で学ぶのは初めての体験でした。そのため、自分の英語力にはまだまだ伸びしろがあると痛感すると同時に、今後もっと学びたいという意欲につながる貴重な経験になりました。

街中で感じた「英語力の高さ」と文化の違い

滞在中に最も驚いたのは、スウェーデンの人々の英語力の高さでした。街中で耳にするのは基本的にスウェーデン語ですが、一度話しかけると、誰もが自然に英語へ切り替えて会話してくれます。ホテルのスタッフはもちろん、カフェやスーパーで働く人までもが流暢で聞き取りやすい英語を話し、意思疎通に不安を感じる場面はほとんどありませんでした。その姿は、見ていてかっこよく、語学力の大切さを実感する瞬間でもありました。また、公共交通機関も日本と文化の違いを強く感じました。日本では、電車やバスの中で静かに過ごすことが一般的ですが、スウェーデンでは車内で普通に会話や通話をしており、雰囲気がまったく異なります。こうした文化の違いを実際に体験できたことは「自分の常識は世界の常識ではない」とことを知る貴重な機会となりました。また、渡航直後は椅子や机の高さが合わず大変でした。特にその影響を受けたのがトイレで、座ると足がつかなくなることに気づいた時には、なんだか面白くなり笑ってしまいました。こうした日常の発見も留学の楽しさを彩りました。

起業への関心がさらに高まった出会い

大学入学後、就職よりも起業のほうに興味を湧きはじめ、少しずつ情報を集めていました。そんな中、今回のプログラムでは、起業に関する話を聞く機会があったり、スウェーデンで会社を設立した日本人の方

から話を伺えたりと、多くの刺激的な出会いがありました。他にも、東北大学で起業後、KTH大学の大学院に進学された方ともお会いすることができ、自分にとって非常に励みとなる経験となりました。多様な背景を持つ人々の話を聞くことで、起業に対する自分のモチベーションはより一層高まり、「自分も挑戦してみたい」という気持ちが強くなりました。

STORY

異文化で育った仲間から得た気づき

異なる環境で育った同世代の学生と話せたことは、短期留学の中で最も記憶に残っています。中には、日本のアニメやゲームが大好きで日本語を勉強している学生もいて、「このセリフ、日本語だからこそカッコいいんだよね」と楽しそうに語ってくれました。ほかにも、英語の会話で、些細なミスはあれど、通じ合えたのはとても嬉しかったです。また、現地の日本語クラスに参加する機会もあり、そこでは多くの学生がミスを少しも恐れず積極的に発言していて、アクティブさに驚かされました。母語ではない言語で堂々と挑戦する姿を見て、「こうした姿勢こそが英語力の伸びにつながるのかもしれない」と感じ、帰国後の自分の学び方を見直すきっかけにもなりました。

Sato Tsukasa

「話せたらいいな」から始まった留学への一歩

留学を考えたきっかけは、とてもシンプルです。英語が話せるようになりたいからです。将来のキャリアに直結する能力とは限らないですが、どうせなら話せた方がいいと思い挑戦しました。英語圏で、9月に参加できるプログラムという条件から、留学先にはUBC (ブリティッシュ・コロンビア大学) を選びましたが、結果的にとても良い大学だったので、幸運な選択だったと思います。私はプログラム中の授業は午前のみで、平日は9時から12時半まで。授業日の約7割は教室での授業、残りは課外学習という構成でした。教室では、先生が用意したプリントをもとに語彙を学び、ディスカッションを重ねながら英語力を高めていきます。課外学習は博物館や展望台を訪れるなど、観光を通じて現地の文化を知る良い機会でした。座学だけでなく、体験を通して学ぶという点が印象に残っています。

学ぶ姿勢も文化も全く違うクラス

クラスメートは、ドイツ、チリ、台湾から各1名、他は日本人でした。授業中に驚いたのは、海外から来た学生たちの姿勢です。先生が話している途中でも、内容に関連することはもちろん、単なる語彙の疑問でも質問を投げかけていました。日本ではあまり見ない光景で、「海外は本当にこうなんだな」と実感しました。先生はカナダの方でしたが、「毎日スナックを持ってきてね」と言うほどお菓子好き。授業中にお菓子を食べ

ても構わない雰囲気も、日本とは違い新しい感覚でした。逆に日本では授業中にお菓子を食べたら怒られることには、ドイツ人のクラスメートは驚いていました。

授業と一人時間で感じた距離の近さ

私の名前「Tsukasa」は英語では少し発音しづらいため、先生に英語名をお願いしたところ、「Kale」という名前をもらったことでぐっと距離が縮まった気がしました。3週間という短い留学期間、授業では日本人が多いこともあり、授業外で現地の人と話す機会を増やそうに心がけ、ガスタウンやビーチ、ダウントウンを訪れたり、カフェでのんびりする日もありました。ビーチやカフェで座っていると、かなりの確率で「隣座っていいかい?」、「今日はいいい日だね」などと声をかけてもらえます。日本では体験しないことですので、海外の文化を肌で感じた瞬間でした。

偶然の出会いが広がってくれた世界

ある日、学内のカフェでコーヒーを頼み待っていると、隣の学生に「何を頼んだの?」と話しかけられました。そのまま話が弾み、彼女は芝生で2時間ほど世間話をするに。別の日には一緒に食事もしました。現地でこんな友人ができるとは思っていなかったのも、とても印象に残っていて、短期間でも行動次第で人とのつながりは生まれるのだと実感しました。英語が話せるようになりたいという軽い動機から始まった留学でしたが、短期間でも文化や価値観、人との関わり方に

TASTE 海外短期語学学習

・・・

ブリティッシュ・コロンビア大学
カナダ

多くの気づきを得られる充実した3週間



物質理工学院 佐藤 司彩さん
留学時学年 学士課程1年 9月 (3週間)



多くの気づきがありました。留学は特別な目的や将来設計がなくても、一歩踏み出すことで得られるものがあることを実感できました。私は化学分野を専攻していますが、研究職以外で英語を活かせる一般企業で働くことも視野に入るようになりました。来年は、英会話を活かせるアルバイト、次の留学は長期でカナダの大学で学ぶことに挑戦しようと考えています。

STORY

バレエがつかない、もう一つの留学体験

授業中にクラシックバレエを習っている話をすると、先生のお子さんが通っているハーバーダンスセンターを紹介してくれました。誰でも参加できるオープンクラスがあり、現地で踊る予定はなかったものの、思い切って挑戦することに。道具は最低限しか揃えられませんでした。結局4回もレッスンに参加しました。海外で初めて踊ったバレエは、普段とは違うエネルギーに満ち、とても刺激的な経験でした。言葉がほとんど必要ないバレエだからこそ、国を越えて自然に溶け込めたのだと思います。さらにUBCのバレエクラブのオーディションにも挑戦し、短期間ながら忘れられない思い出になりました。次に留学できたら、今度こそクラブに入りたいです。



短期海外留学のハードルは考えているより低い

初めて海外に行ったり、海外の大学を訪問したりするのは、不安を感じていましたが、このプログラムでは引率の方が丁寧に準備してくださっていたので、楽しいところだけを存分に味わうことができました。長期留学や海外で働くことを考えつつもまだ一歩踏み出せない方には、まずこういったプログラムに参加してその雰囲気を掴んでみる、というのを強くお勧めします。きっと自分の可能性が大きく広がるきっかけになるはず!



企業訪問時の写真 (Atlas Copco 社)

Antonio 先生の
レクチャー後の写真

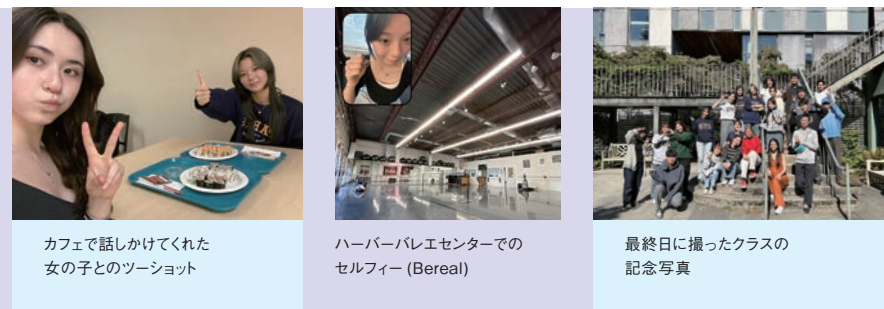
バブで現地の学生と
話している時の写真

アントレプレナーシップ・グローバル海外研修の詳細はp.17へ



「準備」と「行動」が、留学体験の濃度を決める

カフェで出会った友人との交流は、実は留学3日目の出来事でしたが、現地での英会話慣れない段階でも、会話を楽しむことができました。その背景には、留学前に少したけ「生きた英語」に触れていたことがあったと思います。特別な勉強をしたわけではなく、SNSで目にする英語コンテンツの表現を覚えたり、ネイティブの会話を耳にする程度でしたが、それだけでも現地では大きな自信につながりました。現地で学ぶからこそ、事前に英語に触れておく姿勢はとても大切だと感じます。現地で得られる経験は、できる限りすべて挑戦してみたいです。



カフェで話しかけてくれた
女の子とのツーショット

ハーバーバレエセンターでの
セルフイー (Bereal)

最終日に撮ったクラスの
記念写真

TASTE海外短期語学学習の詳細はp.18へ



Science Tokyo -AYSEAS

ハノイ工科大学
ベトナム

短期留学を通して変化した 長期留学への目的意識

工学院 システム制御系 黒田 未知さん
留学時学年 学士課程3年 9月(10日間)

Michi Kuroda

幼い頃から抱いてきた海外留学への憧れ

海外留学は小さい頃からずっと憧れていました。将来的には長期留学を実現したいと考えていましたが、その前段階として短期留学を経験し、自分の留学生活がどのようなものになるのかを明確に思い描きたいと思っていました。昨年の夏に、3週間のアメリカ留学に参加し、大学や企業を訪問して多くの貴重なお話を伺う機会に恵まれました。この経験が非常に充実していたことから、「今年も短期留学に挑戦してみたい」という気持ちが自然と生まれました。

文化と交流に魅力を感じAYSEASに

短期留学プログラムの中でも、AYSEASを選んだのは、日本と地理的に近いアジア地域の文化をより深く学びたいという思いがあったからです。特に、タイ・フィリピン・ベトナム3ヶ国の学生と交流できる点に大きな魅力を感じました。AYSEASでは、企業や大学を訪問し、現地の学生たちとディスカッションする機会が設けられていました。とりわけ印象的だったのは、海外の学生たちがとても積極的に質問し、自分の考えをはっきりと伝えていたことです。その姿勢は大きな刺激となり、議論への関わり方について考えさせられる体験でした。また、プログラムの最後には5~6名でグループを組み、プレゼンテーションをおこないましたが、専門知識を活かしたチーム、コント風のユニークな構成で発表す

るチームなど、どのグループも個性豊かで発想力にあふれていました。研究紹介やプレゼンに慣れている学生が多く、その堂々とした姿から学ぶことは非常に多かったと感じています。AYSEASに参加した学生は、みんな優秀でありながら、フレンドリーな人ばかりでした。渡航前は英語面での不安もありましたが、実際に現地で過ごしてみると問題なくコミュニケーションを取ることができ、濃密で充実した時間を過ごすことができました。このプログラムを通じて出会った仲間は、留学の楽しさを一層大きくしてくれる存在でした。

週末の特別な体験

土曜日にはベトナムの人気観光地であるハロン湾へ1日ツアーに参加。雨季ということもあり、渡航期間中は天気候に恵まれませんでした。このツアー当日は青空が広がるとても良い天気になり、クルーズ船に乗って、船の上で海を眺めながら食事を楽しむという豪華で特別な体験ができました。日曜日は自由行動日で、私は人気スポットとして知られるトレインストリートを訪れました。両脇にお店がずらりと並ぶ細い路地のすぐ横を、電車が走り抜ける迫力ある光景は、忘れられない経験になりました。

“次のステップ”への確かな実感

今回の短期留学を通じて、長期留学へのモチベーションはさらに高まりました。以前は語学留学をメイ

ンに考えていましたが、AYSEASでの経験を通して、単に英語を学ぶことを目的とするのではなく、英語を使って専門的な内容を学ぶ環境に身を置くほうがより有意義で実りある留学になると感じるようになりました。今後は長期の研究留学を目指し、より具体的な計画を立てながら次のステップへ進んでいきたいと考えています。

STORY

初日に感じたベトナムのおもてなし

ベトナム到着初日、ホテルに荷物を置いて近くのお店に麺料理を食べに行きました。初めて味わう本場のベトナム料理は驚くほどおいしく、留学の始まりにわくわくしていました。支払いをしようとするお店の方が「お金はいらない」と一言。あまりの出来事に戸惑いましたが、一緒にいたベトナムの学生によると、うれしい出来事があった時などにお金を受け取らないことは珍しくないのだそうです。さらに、現地学生が地元の人と初対面でもすぐに打ち解けて会話をしている様子を見て、到着早々、ベトナムの人々のやさしさと親しみやすさが強く印象に残りました。

IROP (International Research Opportunity Programme)

インペリアル・カレッジ・
ロンドン
イギリス

忘れることのできない 刺激的な体験と研究の日々

環境・社会理工学院 融合理工学系 小島 渚乃さん
留学時学年 修士課程2年 6月~8月

Nano Kojima

国際的に活躍できる人物への最初の一步

今後どのようなキャリアを歩むとしても、特定の場所に縛られず、国際的な環境で働きたいという意思があり、どこかのタイミングで必ず留学したい、その願いを具体的な形にしてくれたのがIROPでした。ロンドン中心部という立地、短すぎず長すぎない夏の2か月という期間。語学留学ではなく研究に取り組み、世界中から学生が集まるという内容。そしてTazaki財団からの奨学金。初めての留学として理想的で、これ以上ない条件が揃っていました。

苦しさの先にあった成長

ロンドン滞在中には、修士論文提出、修士論文発表、博士課程入試にあたる研究プラン発表をオンラインで行いました。想像以上に大変でしたが、オンライン参加を許可してくださった先生方への感謝は尽きません。発表後に、指導教員から「先生方が、小島さんの英語すごく上達したね、ネイティブかと思ったと言っていましたよ」と伝えられ、その一言で、胸につかえていた重さがふっと軽くなりました。IROPと修論の両立は本当に大変でしたが、確かに前に進んでいたのだと実感できた瞬間でした。ロンドンでは、本学の研究室関係者であり、現在JSPSロンドンセンター長を務める原正彦先生とお会いする機会も得ました。「コンピュータによる見るという行為と、人間が何かを見るという行為の差異等」お

話は、私の研究に強い刺激を与え、修論でもいくつかの論点として発展させることができました。研究とは、机に向かうだけでは育たない。思考を揺さぶる外部の刺激が、深い洞察を生むのだと実感しました。

研究が動き出した場所

滞在中は、数日に一度インペリアルスポーツ施設「Ethos」のプールに通っていました。“Ethos”とは、アリストテレスが『弁論術』で説いた「人を説得するための三要素」のひとつで、私の研究テーマである視覚レトリックとも深い関係がある概念です。修論の考察部分に悩み、気分転換にEthosで泳いでいた際、忘れることができないほどスカッとする閃きの瞬間が訪れ、この“Ethos”を糸口に自分の研究の考察の道を拓くことに成功しました。指導教員にも「うまくまとめられましたね」と言っていただけでしたが、あの瞬間の気づきがなければ到達できなかったと思います。インペリアルEthosは、私の研究にとって忘れられない場所になりました。

ロンドンで得た刺激が、次の研究の道を拓く

体調がよほど悪くない限り、誘われたら積極的に参加する、そんなスタンスで過ごした夏は、期待以上に豊かで刺激的な時間となりました。書店巡りや、放課後のハイドパークや美術館で過ごすひととき、物価高のなかで見つけた無料の楽しみ、そしてロンドンの街に点在する日本やアジアの表象を探す散

歩。日本料理店の看板の写真を集め、異国の地で日本のアイデンティティがどのように可視化されているかを観察する、そんな個人的な趣味にも没頭することができました。今回の滞在を通して、私はすっかりロンドンに魅了されました。今の大きなモチベーションのひとつは、ロンドンに戻り、あの多文化が交差する美しい街で研究を行うことです。どのような形になるかは計画途中ですが、近い将来、必ずもう一度あの地に立ち、研究を行いたいです。

STORY

多様性が息づく日常

プログラム序盤、仲間と参加したロンドンプライドは忘れられない最高の体験でした。パレードを彩る様々なフラッグやアンセム、力強いメッセージのサイン、そのすべてが街の祝祭として自然に受け入れられていました。驚いたのは、非当事者を含む多くの人にとって「プライドに行くこと」がごく当たり前の行動として共有されている点です。参加したことを話すと「私もいた、会えたかもしれないね」と返されることが何度もあり、日本との差を強く感じました。アメリカの学生に日本の現状を伝えると驚かれることも多かったですが、パレードの熱気と笑顔には確かな勇氣と希望がありました。整然とした近衛兵の列にドラッグクイーンが踊り込む光景は、まさにロンドンらしい自由の象徴でした。

Advice

まずは気軽に 短期留学から

留学に興味があるなら、まずは1~2週間でも短期で挑戦してみることをおすすめします。私はもともと長期留学しか考えていみせんでしたが、AYSEASに参加してすごく良い経験ができたので、学士1年生の時も参加すればよかったと思っています。長期留学は準備も多くハードルが高く感じられますが、短期留学は比較的気軽に応募でき、海外で学ぶ雰囲気をつかむには最適な機会です。もし迷っているなら、小さな一歩を踏み出してみてください。本学には多彩な留学プログラムが揃っているの、自分に合った挑戦がきっと見つかるはずですよ。



トレインストリート

ハノイ湾でのクルーズ船観光

メンバー全員の集合写真

Science Tokyo-AYSEASの詳細はp.20へ



Advice

不安を超えた先に広がる、 かけがえのない時間

私は留学が決まってから留学するその日まで、知らない場所、知らない人たちに囲まれた環境へ飛び込むことが不安で仕方ありませんでしたが、今振り返ってみると、そんな緊張などプログラム最初の数日で消し去られ、嘘のように楽しい2ヶ月間を過ごすことができました。少しでも留学に興味がある方は、一度不安や緊張は無視して動いてみる(国際教育課のメーリングリストに登録してみる、学内の留学プログラムに応募してみる等)というのをお勧めします。小さな行動が大きな一歩になります。



キャンパス内にバブがあるんです。最高でした

様々なフラッグが靡くロンドンプライド

日本人作家の本をたくさん見かけました

IROPの詳細はp.25へ





Sakuma Yuta

01
協定校シーズン
プログラム
・・・
ベルリン工科大学
ドイツ

02
派遣交換留学
・・・
アアルト大学
フィンランド

異国での生活や交流が叶った 念願の長期留学体験

環境・社会理工学院 融合理工学系 佐久間 悠大さん
留学時学年 協定校シーズンプログラム：学士課程2年 8月
派遣交換留学：学士課程3年 8月～翌年7月

高校時代から抱いていた「長期留学への挑戦」

高校生のころから海外に挑戦したいという思いがあり、当時から留学プログラムに参加していました。しかし、最終的にはコロナウィルスの蔓延により留学を断念せざるを得ませんでした。その経験があったからこそ、大学入学後は「必ず長期留学へ挑戦したい」という気持ちが強まりました。一年間という長期の派遣交換留学を選んだのは、現地での暮らしをしっかりと体験したいという強い希望があったためです。学部3年生のタイミングで念願の留学を実現できましたが、実は2年生の夏に、協定校シーズンプログラムでドイツのベルリン工科大学で開催されている二週間のサマープログラムに参加していました。短期間でのプログラムでしたがディスカッションやプレゼンテーションの機会が多かったため、海外での授業を受ける自信へと繋がりました。国際交流が非常に楽しかった一方、長期間での生活や交流を体験したいという思いも強くなり、帰国後すぐに今回の派遣交換留学への応募を決意しました。留学先にフィンランドを選んだのは、学業面で自分の興味と合致していたことが大きな理由です。さらに、前年にフィンランドを訪れた際に「もっと長期で滞在したい」と感じたこと、安全で安心して生活できる環境であることも後押しとなりました。

実践的な授業と充実した環境で得た貴重な経験

留学中は、現地のコンピュータサイエンス学科で授業を履修しました。学士課程の授業はフィンランド語が中心なため、英語で受講できる科目や修士課程の授業（英語）に挑戦しました。一つひとつの授業は時間も労力も求められ大変でしたが、実践的な内容が多く、課題を通して大きく成長できる環境でした。特に印象に残っているのは、演習時間に質問できる時間が設けられており、TA（ティーチング・アシスタント）が丁寧に対応してくれる点です。困ったときにすぐ相談できる体制が整っており、学びを深めるうえで大きな支えになりました。学科の授業とは別に、一年間を通して取り組むプロジェクト型授業にも参加しました。内容は企業からスポンサードされ、企業が抱える課題に対して解決策を検討するという、より実践的なものです。プロジェクトでは数多くの壁に直面しましたが、メンバーと何度もディスカッションを重ね、最終的にはプロダクトとして形にすることができ、授業の枠を超えた、「社会とつながる学び」ができた貴重な経験となりました。留学生活の中では、授業の運営に携わるTAに応募して活動したり、SLUSHと呼ばれるスタートアップイベントのボランティアとして参加したりしました。交換留学生であっても現地の学生同様に多くの挑戦機会に恵まれており、充実した留学生活を送ることができました。

留学が変えた未来のキャリア観

学士課程3年生の秋より一年間の留学をしたため、卒業時期を半年ほど遅らせることにしました。学部卒業後は就職をする予定ですが、留学経験を経て今後のキャリアでも海外に携われることがあれば、積極的に挑戦していきたいと思います。

STORY 自然と温もりに包まれた、 「学びと暮らし」の両立

フィンランドでの生活では、サウナやキャンプファイヤーをはじめ、アウトドアアクティビティを思う存分楽しめました。大学やアパート、イベント施設にはサウナが備わっており、気軽に楽しむ環境が整っていました。首都ヘルシンキは東京に比べると小さいですが、自然へのアクセスが良く、夏にはカヌーやSUPなど多くのアクティビティが楽しめます。大学には数多くのクラブがあり、興味のある活動に気軽に参加できたことで、国際交流の幅も広がりました。キャンパス周辺には学生寮が集まり、一つのコミュニティのような雰囲気があり、スペースを予約して集まったり、キャンプファイヤーをしたりと交流の機会が豊富でした。学業との両立は大変でしたが、時間管理を工夫しながら充実した日々を過ごすことができました。



大学のキャンパス付近のサウナ

Vappuと呼ばれる5月のお祭り

ヘルシンキの街並み

派遣交換留学の詳細はp.31へ



東京科学大学・
清華大学
大学院合同プログラム
・・・
中華人民共和国
清華大学

異なる価値観を知ることで これまでになかった選択肢が見えてくる

生命理工学院 生命理工学系 川見 昂瑠さん
留学時学年 東京科学大学・清華大学 大学院合同プログラム：
修士課程1年 8月～翌年11月

ダブルディグリーにこだわった理由

清華プログラムを選んだ理由は、世界最高峰の教育環境で学べ、学費がかからない、そしてダブルディグリーを取得できる点にありました。前二者も重要ではありませんが、留学先の大学でも学位取得ができることは、譲れない条件でした。学部での研究を修士課程でも継続したいと考えていたため、本学大学院への進学は前提でしたが、交換留学のように短期間「お客様」としての研究参加では、研究室で本気の教育を受けることは難しいのではないかと感じていました。自ら研究計画を立て、実行し、修士論文としてまとめることが修士課程教育の核心だと考えていたため、本学に在籍しながら、現地の修士学生として研究できる本プログラムは、まさに理想的な選択でした。

「プロ」として扱われる環境で強みを磨く

清華大学で、何より印象に残っているのは所属するラボで初めて、哺乳類細胞のゲノム編集に成功したことです。本学の相澤研究室でのテーマをもとに、ゲノム編集のプロジェクトを任せてもらいましたが、学部時代に本格的なゲノム編集の経験はほとんどなく、当初は戸惑いの連続でした。教授には最初から「プロ」として扱われ、その期待とのギャップが大きなプレッシャーになりました。教授からは「ゲノム編集のことは彼がなんでも知っている」と紹介されたものの、私を信頼してくれた博士学生からの質問に答えられず、徹夜で勉強して翌日答える、

そんなこともありました。それでも、「このギャップを必ず埋め、期待以上の成果を出して帰国したい」という思いで必死に学び続け、最終的に研究をリードして、研究成果を上げることができました。同じ能力であれば、現地学生にやらせた方が、言語的にも心理的にも何倍もスムーズです。だからこそ、異国の環境で生き残るためには、何か一つでも強みが必要だと痛感しました。

国境を超え発揮したリーダーシップと得た自信

国から奨学金をいただいていたこともあり、自分の成長だけでなく、日本のために何かを還元したいという思いがありました。世界各国のエリートが集まる清華大学で、日本のイメージが上げればいつか大きなリターンになると考え、さまざまな活動を主導しました。例えば学生祭では、秋には学内の日本人メンバーを率いてソーラン節を披露、春には一人でもステージに立ちました。海外でも知られる日本の楽曲を歌いましたが、清華大学の学生たちは国や言語に関係なく温かく受け入れてくれ、その寛容さに驚かされました。こうした活動を通じて、海外からの日本文化への関心、また国際的な環境でも自分のリーダーシップが通用することが実感できました。

留学がもたらしたキャリア選択の再定義

清華大学で多国籍の学生と交流する中で、日本の就職活動が世界から見えていかに特殊であるかを知りました。各国トップ層の学生が、どのようなキャリアプランを描き、そのためにどのような選択をしているのかを直

接聞けたことは、とても勉強になりました。特に博士課程進学と就職活動においては、日本と海外、大学レベルによってかなりの情報非対称性があります。知らない選択肢は検討することすらできません。留学を通してそれらを「知った上で選択できる状態」になったこと自体が、将来を考えるうえで大きな財産になったと感じています。

STORY コミュニケーションスタイルの違い

中国に到着後、コミュニケーションのスタイルの違いにまず驚きました。会話はとても直接的で声も大きく、自分と他人との境界線が日本よりずっと薄い印象です。もともと外交的な性格の私は対面でのやり取りにはすぐ順応できましたが、より衝撃的だったのはチャットの文化でした。連絡を送れば1分以内に返信が来るのが当たり前で、半日返さないと事故でもあったのかと心配されるほどです。丁寧さよりも、素早く率直に伝えることが重視される環境で過ごすうちに、感情に振り回されず、実利を取る「良い意味での鈍感力」が身についたと感じています。日本では得難かった学びです。帰国後の電車で思わず大声で話してしまい、慌てて日本仕様に戻しました。



日本の曲を披露した学祭

200人ほどが住む国際寮での生活。24時間365日ずっと楽しかったです。

大学内の日本人を集め、ソーラン節を踊ったイベント。他にも各国からの学生団体が出演していました。

東京科学大学・清華大学 大学院合同プログラムの詳細はp.28へ





留学準備

留学に行きたいと思ったら、その日に向けて計画的に準備をしましょう。

派遣交換留学であれば約1年前、短期プログラムであれば2か月～半年前に応募を締め切りますので、事前の準備が肝要です。

1 留学情報を収集しよう

留学情報サイト「留学ガイド」

留学に関する様々な情報をまとめて掲載しているウェブサイト。各種留学プログラムの最新情報の他、留学奨学金情報や留学手続きの流れ等を確認できます。また、過去に留学を経験した学生たちの留学体験談も多数掲載されているので、留学のイメージをつかむとともに、プログラムや留学先を選ぶ際の参考となること間違いなしです。

留学ガイド



<https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad>



みなさんが思い描く「留学」ができるように、留学プログラム診断ツールを作成しました。滞在期間、海外でやりたいこと、語学力etcから希望を選んで、あなたにぴったりの「留学」を探してみよう。

2 留学の目的を考えよう

留学したいと思ったら、留学の目的を明確にしましょう。留学の目的がはっきりしているほど、充実した留学生活を送ることができ、留学による成果も期待できるでしょう。卒業までの学修計画の中にどのように留学を位置付けるのか、留学をどのように将来に活かすのかを考えることも大切です。



3 語学力を身に付けよう

留学をより実り多いものにするには、留学前に語学力をできるだけ向上させておく必要があります。また、留学プログラムの中には応募の際に語学要件が課されているものもありますので、自身の語学力を高めるほど、留学の選択肢が広がると言えます。語学力は一朝一夕で身に付くものではありませんので、早いうちからトレーニングしておきましょう。

4 良い学業成績を残そう

プログラムや奨学金によっては応募の際に成績要件が課せられているものがあります。



5 留学資金を確保しよう

留学には多くの費用がかかるもの。留学期間や行先によって金額は異なりますので、事前に希望の留学をするにはどの程度必要なのか確認し、家族にも相談しましょう。本学では、比較的安価に行けるプログラムや奨学金がセットになったプログラムも提供していますのでこちらも併せて調べてみましょう。



留学イベント

国際教育課では毎年春に全学イベントの留学フェアを開催しています。加えて、留学終了学生による報告会、各種留学プログラム説明会等、留学に関して皆さんが気になるテーマを取り上げたイベントを随時開催しています。

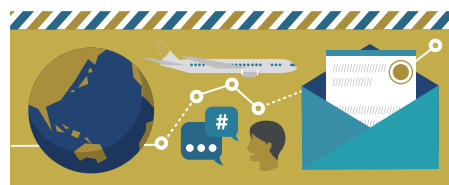
2026年は4月22日(水)に開催決定！

- テーマの例
- 本学の国際教育について理解する
 - 留学×就活
 - 本学の留学プログラムを知る
(派遣交換留学・地域別・コンソーシアム等)
 - 学位留学と奨学金について



国際交流メールニュース

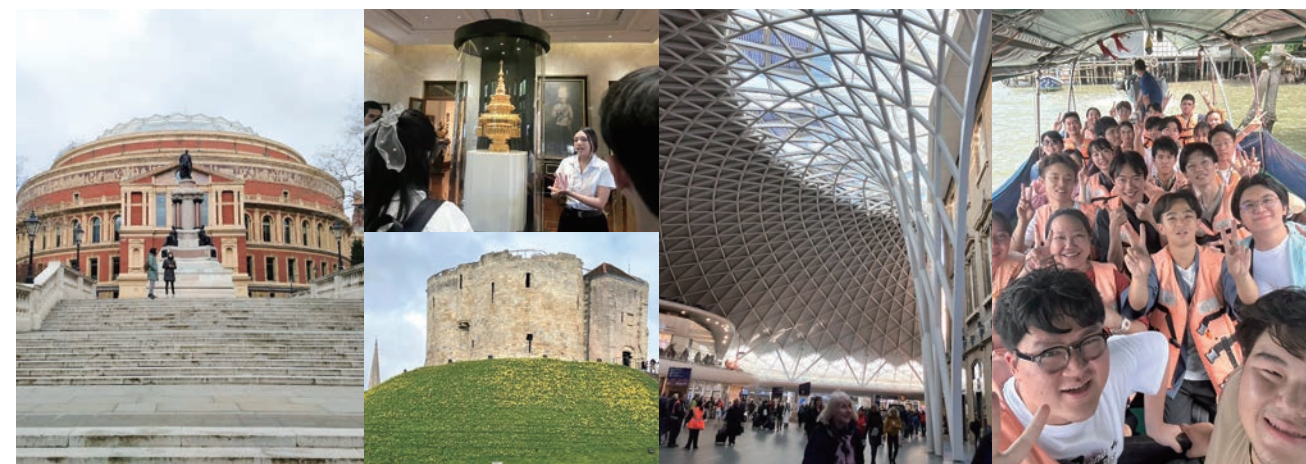
留学プログラムや留学用奨学金に関する募集情報を随時メールニュースとして配信しています。幅広く情報を集めたい人、忙しくて自分で情報収集する時間のない人、募集時期を逃したくない人にもオススメです！



登録は上記「留学ガイド」またはこちらから

留学コンシェルジュ

留学について留学コンシェルジュに相談してみよう。 → 詳細 p.15、16 参照



学内でできる国際交流！

多言語チャット

学修コンシェルジュJr.のなかでも国際経験豊かな学生が進行役となり、中国語・韓国語・英語・日本語の中から選択した言語を使い、身近なテーマで気軽におしゃべりできる機会を提供しています。お昼休み開催で、予約も不要、楽しみながら交流できます。留学生と交流したり、一緒に学習する仲間を見つけたり、まずは始めてみませんか？

場所

Taki Plaza B1F Global Lounge

詳細は
ウェブ
サイトへ！



Open Forum（オープンフォーラム）

Open Forumは学生の皆様の英語力やディスカッション・ファシリテーションスキルの向上を目指し、原則週1回、お昼に対面とオンラインで同時に開催している、30分のショートイベントです。学生が自身で選んだテーマについて、英語で短いプレゼンテーションを行った後、参加者でカジュアルなディスカッションや質疑応答を行います。お昼を食べながらご参加いただける上、単発参加や傍聴も可能です。英語力を磨きたい方にお勧めです。

詳細は
ウェブ
サイトへ！



SAGE

国際交流学生会SAGEは、主に海外の大学に所属する学生との交流の場を創る学生団体です。本学を訪問する海外学生との交流会、海外学生を本学に招く約11日間のプログラムなどを企画・運営しています。



留学生チューター

入学当初の留学生が不安や不便なく学修や日常生活ができるように先輩Science Tokyo生が支援する制度です（謝金支給有）。チューター活動を通して、外国語でのコミュニケーションを実践できるだけでなく、留学生の出身国の生活習慣や文化を学ぶ機会を得られます。また、自国の文化や社会制度等に対する考えを見直すきっかけにもなり、自身の留学にも活かせることでしょう。

語学学習に活用してみよう！

リベラルアーツ研究教育院外国語セクション

Support & Event

外国語学修資料室

外国語学修用に各種語学教材（英・仏・独・中・露、他）の閲覧・貸出を行っています。

※要学生証

場所

大岡山キャンパス西3号館7階701号室

開室日時

月曜～木曜開室

外国語学修相談室

専任教員が外国語学修に関するあらゆる相談に応じています。

English Café

ネイティブスピーカーの先生を中心にランチを食べながら、気軽におしゃべりをする会です。

Open English Office Hours

ネイティブスピーカーの講師が、英語学習についての相談に応じます。英会話トレーニングにも最適です。

Writing Center

文章課題について相談できる教育機関です。アカデミック・ライティングの訓練を受けたチューター（本学所属の大学院生）が書き手との対話を重ね、文章の改善を支援します。対面・オンラインどちらでも対応可能です。

※但しオンライン希望者は3日前までにSlackにて申込必須

各支援詳細は
ウェブサイトへ！



留学の準備

留学を含む国際教育カリキュラム

アントレプレナーシップ教育 グローバル教育オプション

2024年度以降入学者対象

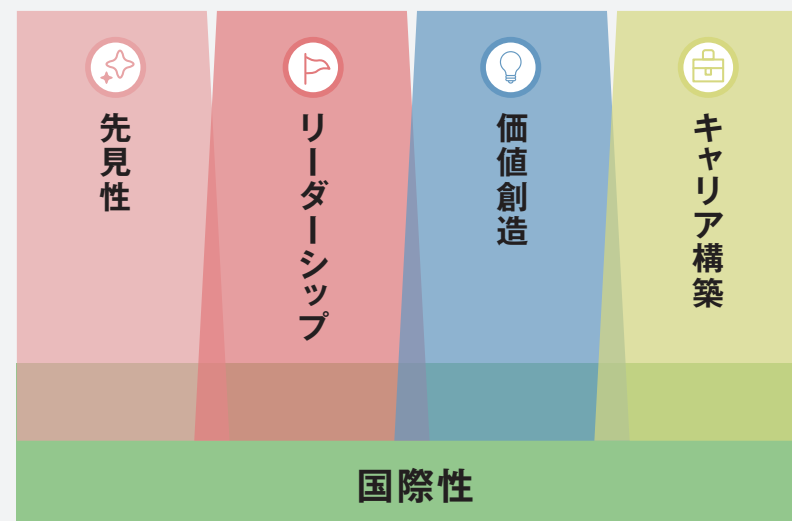
Global Education Option -GEO

本学では、専門教育、教養教育、アントレプレナーシップ教育の3つの柱で教育を実施しています。グローバル教育オプションは、アントレプレナーシップ教育の一部として実施されており、アントレプレナーシップ教育コア科目を3単位履修した上で、指定科目の履修（5単位）等により、修了証明書が発行されます。アントレプレナーシップとは、「新たな価値を開発・開拓し、それを社会に事業として設定する行動体系（マインドセット・スキル）」と本学では定義します。グローバル教育オプションは、グローバル教育をアントレプレナーシップ教育と有機的に結びつけ、より高い国際力を身に付けられるように構成されており、留学生との協働を前提とした課題解決型学習、留学を含む国際経験の習得や外国語コミュニケーションなど、演習、実践を重要視したカリキュラムとなっています。



<https://www.cee.titech.ac.jp/info7.html>

アントレプレナーシップ教育における国際性の育成



グローバル理工人育成コース

2023年度以前入学者対象

Global Scientists and Engineers Course

グローバル理工人育成コースは、本学の学士課程・修士課程において「国際基礎力」、「国際実践力」、「国際協働力」を段階的に発展させる国際性涵養に特化した教育カリキュラムです。本コースでは専門性を基礎としたアイデンティティ・知識・経験・技術力を基軸とし、多様性を理解し、倫理観を持って、グローバル社会の未知な課題に対応できる「科学・技術の力で世界に貢献する人材」を育成することを目的とします。



<http://www.ghrd.titech.ac.jp/>
※学内限定：学内キャンパスネットワーク、学内ネットワークアクセス（SSL-VPN）で接続



留学に使える語学試験

プログラムによって認められる語学力判定試験の種類は異なりますが、ここでは主なものを紹介します。

TOEFL iBT テスト

主に大学・大学院レベルのアカデミックな場面で必要とされる英語運用能力（読む・聞く・話す・書く、の4技能）を同時に測定する試験です。自然科学、社会科学、芸術など幅広い分野の教養科目や学校生活に関する題材が扱われます。テスト時間は約3時間です。

試験日程 | 毎月6～8回程度 受験料 | 195米ドル



IELTS

イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドや、多くのヨーロッパの協定校で英語能力の証明として認められている試験です。リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングの4つのテストで構成され、所要時間は約2時間45分です。テスト方式（コンピューターまたはペーパー）を選択することができます。

試験日程 | 毎月4回程度（東京会場） 受験料 | 27,500 円（税込）（JSAFで受験の場合）
※本学学生は受験料割引制度あり。



テスト案内



割引制度を利用した受験申込

TOEFL ITP

東京科学大つばめ生協で実施しています。ペーパー版TOEFL®テスト（TOEFL® PBTテスト）のために制作された数多くのテスト問題を受け継ぎ、グローバルスタンダードによる評価測定を身近に教室内で行うことができます。派遣交換留学プログラムの応募にあたり、一部の派遣先大学でTOEFL ITPのスコアを利用することができます。

試験日程 | 年2回程度 受験料 | 5,160 円（税込）



TOEIC Listening & Reading テスト

TOEIC L&Rはリスニング（約45分間・100問）、リーディング（75分間・100問）、合計約2時間で200問に答えるマークシート方式の一斉客観テストです。

試験日程 | 毎月1回程度 受験料 | 7,810 円（税込）

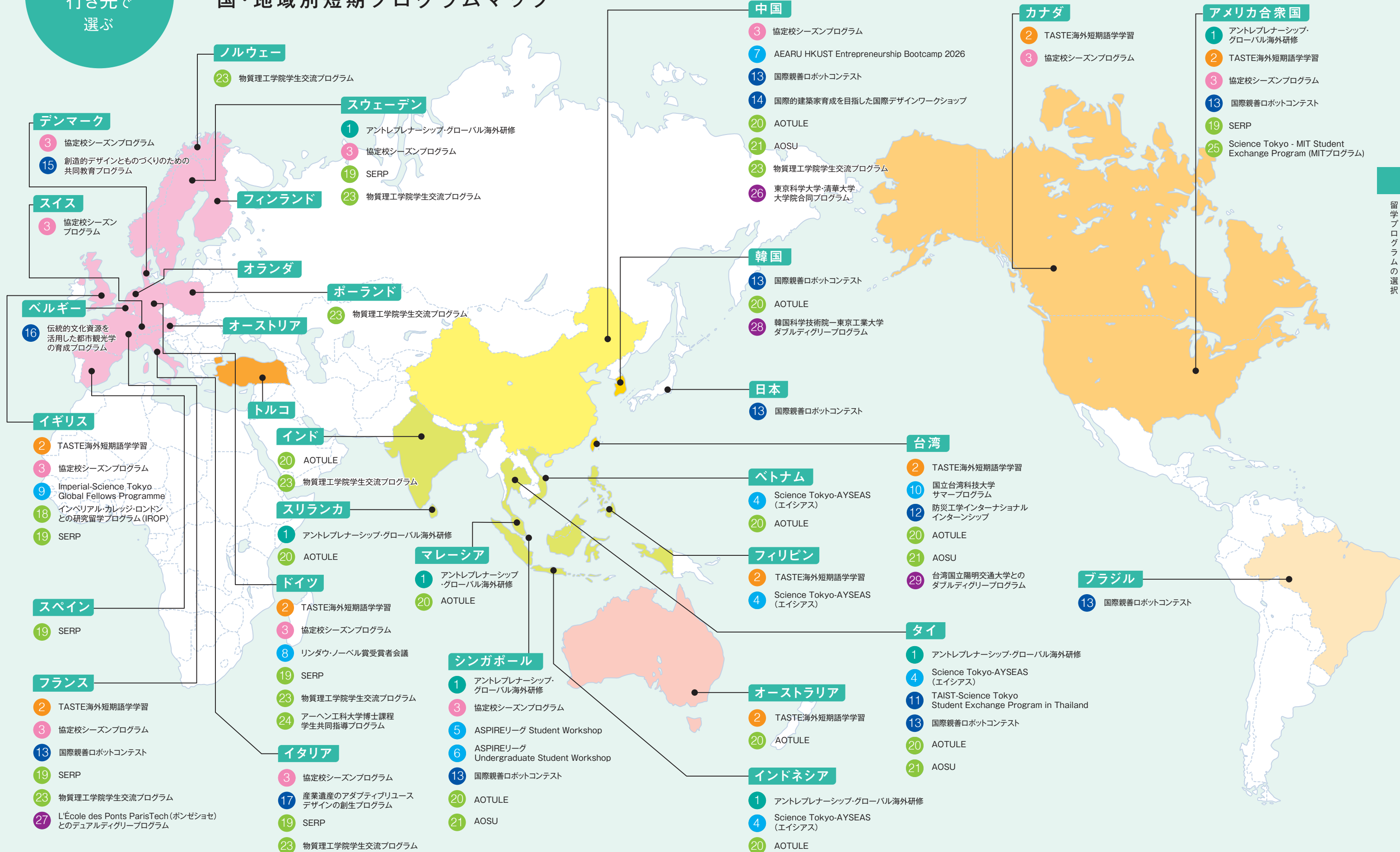


行き先で選ぶ

DESTINATION

国・地域別短期プログラムマップ

留学プログラムや派遣交換留学の対象校がある国・地域に色をつけています。



プログラムの詳細については
p.17～ 留学プログラム一覧を参照ください。

留学プログラムの選択
期間・学年で
選ぶ

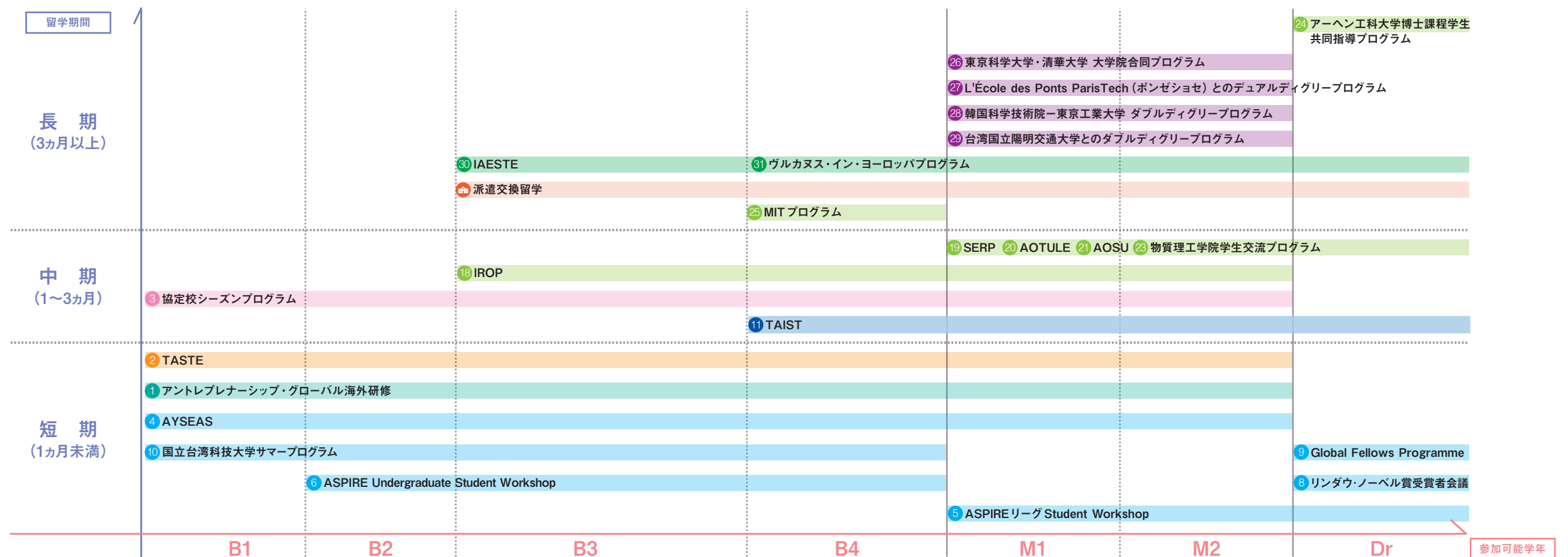
TERM & APTITUDE

留学期間(縦軸)と
参加可能学年(横軸)を
参考に当てはまる
留学プログラムを確認 ▶



あなたに向いている留学プログラム

各プログラムの詳細はp.17以降をご覧ください。



留学プログラムの選択

Taki Plaza へ行こう!

場所	大岡山キャンパス Hisao & Hiroko Taki Plaza B1F
開室時間	平日 9:00〜17:00
MAIL	studyabroad@adm.isct.ac.jp

Taki Plaza地下1階には留学パンフレットやちらしを置いています。カウンターで相談もOK。16ページで紹介している留学コンシェルジュへの相談もお待ちしております!



留学のこと。
聞いてみたいときは
ココへ行こう!

留学コンシェルジュが
あなたを待っています!



日ごろから学生の海外派遣業務に携わっているスタッフが、留学プログラム、留学先や留学時期の選択、留学準備(語学学習含む)等様々な相談に対しアドバイスします。

迷ったら、
留学コンシェルジュに
気軽に相談に
行ってみよう!

相談方法

留学コンシェルジュ
サービス申し込みフォーム
に記入してください。

<https://forms.office.com/r/wVbDFz1nuG>

相談方法は
右記から選べます

- 対面での相談
- zoom相談
- メールでの相談



先輩に相談してみよう!
留学促進学生団体

FLAP

『Science Tokyo生にとって留学が当たり前の選択肢に』をコンセプトに留学経験者が運営する学生団体です。留学イベントの運営、留学を終えた学生たちが自身の経験をもとに留学相談等をおこなっています。





短期海外研修

2週間程度の留学で海外経験第一歩を踏み出したい方

1

アントレプレナーシップ・グローバル海外研修 (グローバル教育オプション/グローバル理工人育成コース)

こんな方にオススメ!

将来長期留学を考えていて、色々な大学を見て回りたい。海外に行くのが初めて。異文化体験をしたい。体験留学をしたい。

世界トップレベルの大学での授業の聴講、学生交流、ラボ見学や、国際機関や現地企業の訪問を通じて、長期留学や海外でのキャリア形成に備える体験留学。

●単位付与有

主な応募資格	学士課程学生・修士課程学生(国籍、学年、学院・系・コース等不問)		
費用・奨学金	一定の条件を満たす学生に8〜11万円が支給される可能性がある。(派遣地域により異なる)		
留学期間	10日〜16日程度	使用言語	英語
問い合わせ先	アントレプレナーシップ教育機構グローバル教育実施室: global_edu@cee.isct.ac.jp		



スタディツアー型

プログラム国(派遣国)	訪問先大学等	時期	募集人数	費用
スリランカ	ランカ・ニッポン・ビズテック・インスティテュート	8〜9月	10〜15名	25〜30万円
スウェーデン	スウェーデン王立工科大学、ウプサラ大学 リンシェーピン大学	8〜9月	10〜15名	25〜45万円
シンガポール マレーシア	南洋理工大学、マラヤ大学 シンガポール工科デザイン大学	2〜3月	10〜15名	25〜45万円



スキル育成型

プログラム国(派遣国)	訪問先大学等	時期	募集人数	費用
インドネシア (異文化グループワーク)	サンボエルナ大学	8〜9月	10〜15名	25〜30万円
タイ (異文化グループワーク)	チュラーロンコーン大学	2〜3月	10〜15名	25〜35万円
アメリカ合衆国 (リーダーシップ育成)	ジョージア工科大学	2〜3月	10〜15名	40〜50万円



語学

語学力を強化したい方、将来の長期留学に備えたい方

2

TASTE海外短期語学学習

こんな方にオススメ!

夏休みや春休みを利用して語学力を向上させたい方!

対象の大学で実施する短期語学研修プログラムに参加する者に対して奨学金支給、単位付与、手続き支援を行います。

●語学研修プログラムへの応募は各自 ●国立台湾大学プログラム: 本学の推薦を受けた学生は授業料免除で参加可能

主な応募資格	●学士課程学生、修士課程学生 ●TOEIC 550点以上またはそれと同等の英語能力を有する者
人数	年間30人程度(予定)
奨学金	9万円〜33万円。渡航先・期間によって異なる
応募締切	夏派遣: 3〜7月、春派遣: 12〜1月 ※各対象大学への申込はこれより早い。各自で申し込むこと。
問い合わせ先	Taki Plaza B1F 国際教育課: outbound@adm.isct.ac.jp

TASTE海外短期語学学習の留学先 ※前年の実施内容に基づいて記載しています。2026年度の最新情報はウェブサイトを参照。

夏派遣

対象国・地域	対象大学	授業料(宿舍、諸費用別)	日程
アメリカ合衆国(英語)	ワシントン大学	USD1,875	7月〜9月の3週間
	カリフォルニア大学バークレー校	USD615/unit	7月〜8月の3〜6週間
	カリフォルニア大学デービス校	USD2,010	7月〜9月の4週間
カナダ(英語)	ブリティッシュ・コロンビア大学	CAD1,650〜2,850	6月〜9月の3〜4週間
	ウォータールー大学	CAD4,438	6月〜8月の4週間
イギリス(英語)	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	GBP1,825〜2,850	6月〜8月の3週間
オーストラリア(英語)	クィーンズランド大学	AUD2,475	6月〜9月の5週間
フランス(フランス語)	レンヌ第二大学	EUR620〜EUR650	6月〜8月の2〜3週間
ドイツ(ドイツ語)	ベルリン工科大学	EUR680	7月の2週間
	ハノーバー大学*	EUR750	7月〜8月の4週間
台湾(中国語)	国立台湾大学*	USD900〜1,800	6月〜8月の3〜6週間

春派遣

対象国・地域	対象大学	授業料(宿舍、諸費用別)	日程
アメリカ合衆国(英語)	ワシントン大学	USD1,898	2月〜3月の3週間
	カリフォルニア大学デービス校	USD2,010	2月〜3月の4週間
カナダ(英語)	ブリティッシュ・コロンビア大学	CAD1950〜2,850	2月〜3月の4週間
オーストラリア(英語)	クィーンズランド大学	AUD2,600	2月〜3月の5週間
フィリピン(英語)	デラサール大学*	PHP8,550(1科目)	2月〜3月の3週間
台湾(中国語)	国立台湾大学*	USD1,100	3月の3週間

*の大学は各大学のウェブサイト等から直接申し込まず、先に国際教育課に申し込むこと。



シーズンプログラム

協定校等で授業受講・研究を体験したい方

3 協定校シーズンプログラム

海外協定校のサマースクールやウィンタースクールに参加し、世界各国の学生と共に主に英語で専門科目の授業受講や研究を行う。参加者には、単位付与や手続き支援が用意されている。協定校への申し込みは各自で行う。

「※」の大学は授業料免除など優遇がある。各大学のウェブサイト等から直接申し込まず、先に国際教育課に申し込むこと。

※例年の実施内容に基づいて記載しています。2026年度の最新情報はウェブサイトを参照。

こんな方にオススメ!

海外のトップクラスの大学の授業を受けてみたい方!

問い合わせ先

国際教育課:outbound@adm.isct.ac.jp



留学先	タイプ	費用	日程	本学締切
カリフォルニア大学 バークレー校 (アメリカ)	講義 受講	授業料USD595/ unit その他	5月～8月の3～12週間	3月～5月
リンシェーピング大学 (スウェーデン) ※	講義 受講	4名まで 授業料免除 (宿舍別)	7月の4週間	3月
アーヘン工科大学 (ドイツ)	講義 受講	授業料 EUR2,250～3,350 (宿舍別)	6月～7月の2～3週間	4月～5月
ベルリン工科大学 (ドイツ)	講義 受講	授業料 EUR1,050～2,530 (宿舍別)	7月～8月の2～4週間	5月～6月
ハノーバー大学 (ドイツ)	研究	参加費 EUR3,150 (宿舍込)	5月～7月の11週間	3月
デンマーク工科大学 (デンマーク) ※	講義 受講	3名まで授業料免除	6月～8月の3～9週間	2月
グルノーブル工科大学 (フランス)	講義 受講	2名まで授業料免除	6月～7月の4週間	2月
トレント大学 (イタリア) ※	講義 受講	授業料免除	1月～2月の2週間	10月
オックスフォード大学 (イギリス)	講義 受講	授業料GBP4,240	6月～8月の6週間	4月
ユニバーシティ・カレッジ・ ロンドン (イギリス)	講義 受講	授業料 GBP2,850～4,950	6月～8月の3～6週間	4月
南洋理工大学 (シンガポール) ※	講義 受講	2名まで 授業料免除 (宿舍別)	6月～7月の2～4週間	2月
香港科技大学 (中国)	講義 受講	3名まで授業料免除	6月～8月の4～8週間	2月
スイス連邦工科大学 チューリッヒ校 (スイス)	研究	無料 宿泊費・渡航費等が支給される	7月1日～8月31日	12月
モントリオール理工科大学 (カナダ)	研究	年間2名まで授業料免除	夏期と冬期に4か月ずつ	夏期:12月 冬期:7月



交流

海外の学生や研究者との交流を通して、新たな見識を広げたい方

4 Science Tokyo-AYSEAS (エイシアス) Science Tokyo-Asia Young Scientist and Engineer Advanced Study Program

本学学生がアジアに赴き、現地・近隣国の大学生と共に企業・政府機関・大学などを訪問する。参加学生は、科学者・技術者の卵として日本も含めたアジアの開発・発展における科学技術の役割というテーマの下、現地調査で得た知見に基づきディスカッションを行い、現地訪問最終日に各ディスカッショングループとしての結論を発表する。



こんな方にオススメ!

語学力を向上させたい方! 海外で友達を作りたい方!

<https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/ayseas>

留学先	2026年度:インドネシア	期間	8月下旬～9月上旬の10日程度。 第2クォーターに事前学習あり。
主な応募資格	● 正規課程学生 (学士、修士) ● 国籍・学年・学院・系・コース等は不問 ● プログラムは全て英語で行われるため、TOEFL iBT80またはTOEIC750相当の英語力が望ましい。 ※詳細は募集要項で確認のこと		
費用・奨学金	旅費 (航空券・ホテルなどを含め30万円程度) は原則自費。ただし、奨学金 (約9万円) 給付の可能性あり。		
人数	15名		
募集締切	5月下旬頃	備考	
問い合わせ先	国際教育課海外留学グループ:ayseas@adm.isct.ac.jp		

5 ASPIREリーグ Student Workshop

ASPIREリーグは、香港科技大学、韓国科学技術院、南洋理工大学、清華大学、本学のアジア理工系トップ5大学で構成されたコンソーシアム。毎年6～7月に議長校で開催されるフォーラムに合わせ、学生ワークショップを開催。特定のテーマに関連した講義や研究施設見学、グループワーク等の活動に参加し、最終日にグループ発表を行う。



こんな方にオススメ!

アジア圏の学生と交流できる!

<https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/aspire-student-ws>

留学先	加盟大学所属国 (2026年は南洋理工大学 (NTU) で開催)	期間	2026年7月6日～7月10日
主な応募資格	● 大学院課程学生 ● 英語で議論が可能であること ● ASPIREリーグ加盟大学の学生との交流に関心があること		
費用・奨学金	渡航費等、費用の一部を本学が支援する場合がある。		
人数	5名		
募集締切	3月末 (予定)	備考	現地での宿泊費、食事等は、主催大学が負担。 保険や現地交通費、渡航費等は本人負担。
問い合わせ先	総務企画部国際課企画調整グループ:aspire.sciencetokyo@adm.isct.ac.jp		



6 ASPIRE Undergraduate Student Workshop

ASPIREリーグは、香港科技大学、韓国科学技術院、南洋理工大学、清華大学、本学のアジア理工系トップ5大学で構成されたコンソーシアム。ASPIREリーグの学部生対象、エンジニアリングデザインの基礎を学べるワークショッププログラム。2026年度開催は南洋理工大学（NTU）。



こんな方にオススメ! アジア圏の学生と交流できる!

<https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/aspire-ug>

留学先	南洋理工大学	期間	2026年6月22日～6月26日
主な応募資格	1.本学所属の学士課程学生(2026年4月1日時点で学士課程2～4年) 2.ASPIREリーグ加盟大学の学生交流に関心があること		
費用・奨学金	渡航費等、費用の一部を本学が支援する場合がある		
人数	5名(予定)		
募集締切	3月末	備考	
問い合わせ先	総務企画部国際課企画調整グループ：aspire.sciencetokyo@adm.isct.ac.jp		

7 AEARU HKUST Entrepreneurship Bootcamp 2026

東アジア研究型大学協会(AEARU)加盟大学の学生向けプログラム。香港の起業エコシステムを包括的に紹介することを目的とする7日間のアントレプレナーシップ・ブートキャンプ。現地視察、ネットワーキング・イベントなどが含まれる。



こんな方にオススメ! アジア圏の学生と交流できる!

<https://www.aearu.com/home/>

留学先	香港科技大学	期間	2026年7月6日～7月12日(暫定)
主な応募資格			
費用・奨学金	渡航費など、費用の一部を本学が支援する場合がある。		
人数	2名		
募集締切	3月末(予定)	備考	現地での宿泊費、食事などは主催大学が負担。保険や現地交通費、渡航費などは本人負担。
問い合わせ先	総務企画部国際課企画調整グループ：sciencetokyo.global@adm.isct.ac.jp		

8 日本学術振興会(JSPS) リンダウ・ノーベル賞受賞者会議

リンダウ・ノーベル賞受賞者会議は、世界各国の若手研究者の育成を目的として1951年に開設され、毎年リンダウ(Lindau:ドイツ南部のボーデン湖に面する保養地)において1週間程度の日程で開催されている。毎年30名程度のノーベル賞受賞者が招かれ、各国から集まった若手研究者に対して講演を行うと共に、参加者とのディスカッションに応じるものである。



こんな方にオススメ! 学術交流をして見識を広げたい!

<https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/lindau-nobel>

留学先	ドイツ・リンダウ	期間	毎年6月から8月のうち1週間
主な応募資格	下記の①及び②の条件を満たす必要がある。 ①日本国籍を持つ者又は我が国に永住を許可されている外国人であって、申請時に本学に所属する博士課程学生又はポスドク研究者(博士の学位取得後5年以内)であること。 ②過去に本会議に参加したことがなく、会議開催時に35歳未満であること。		
費用・奨学金	①所属機関から会場への往復交通費(外国旅費・内国旅費)および ②会議参加費(主催者が提供する宿泊施設の使用に要する経費・食事が含まれる)は、JSPSが負担		
人数	15名以内(2026年度募集要項より、年度・分野により異なる)※本学からの推薦人数に上限はない		
募集締切	7月中旬～8月上旬(渡航前年度)	備考	
問い合わせ先	国際教育課海外留学グループ：outbound@adm.isct.ac.jp		

9 インペリアル・カレッジ・ロンドンとの博士後期課程学生交流プログラム Imperial-Science Tokyo Global Fellows Programme

インペリアル・カレッジ・ロンドンの博士後期課程学生と寝食を共にしながら、専門分野の垣根を越えて世界規模の課題、持続可能な開発目標SDGsについて考える約1週間の合宿型国際交流プログラム。ロンドン又は東京において毎年交代で開催される。2025年は11月に東京で開催。



こんな方にオススメ! 多様なバックグラウンドを持つ学生と協力して、世界共通の課題に立ち向かいたい方。

<https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/gfp-imperial>

留学先	ロンドン(研究室滞在もロンドン)	期間	未定
主な応募資格	博士後期課程学生 (国籍・コース・専攻は不問、非正規課程学生を除く。)		
費用・奨学金	航空券代、海外旅行保険料は自己負担。1週間のプログラム期間中の宿泊先は大学から提供される。		
人数	15名程度		
募集締切	未定	備考	修了者には博士文系教養科目の単位が付与される。
問い合わせ先	国際教育課海外留学グループ：outbound@adm.isct.ac.jp		

10 国立台湾科技大学サマープログラム

空路約3時間にある台湾は、初めての留学先として最適な場所のひとつです。寮生活を送りながら、国立台湾科技大学の学生とともに講義受講や、設定テーマのもと、混合チームで制作に取り組みグループ発表を行います。台湾を代表する企業への訪問も行うことがあります。

こんな方にオススメ! 学術交流をして見識を広げたい!

留学先	国立台湾科技大学(台湾・台北)	期間	夏季(8月予定)の2週間～4週間
主な応募資格	工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院に所属する学士課程学生		
費用・奨学金	渡航費は自己負担。奨学金支給の可能性あり。		
人数	最大15名		
募集締切	5月頃	備考	
問い合わせ先	国際交流支援チーム：ko.intl@adm.isct.ac.jp		





専門

短期間で専門分野の研修を行いたい方

11 TAIST-Science Tokyo Student Exchange Program in Thailand

Science Tokyo、タイ国立科学技術開発庁、タイの6大学、タイ学術研究会議による国際連携大学院TAIST（タイスト）を活用した学生交流プログラム。バンコク郊外のタイランドサイエンスパークにて関連分野の研究室でインターンシップに取り組む。



こんな方にオススメ！ 海外の研究機関で研究活動をしたい！

留学先	タイ	期間	5月から3月の間の1ヶ月～2ヶ月程度
主な応募資格	● 学士課程4年生、修士課程学生、博士後期課程学生 ● 研究研修に関する基礎知識を有する者	備考	期間があれば、TAIST講義を受講することができる。
費用・奨学金	渡航費、生活費等で20～25万円程度。 一定の条件を満たす学生に、奨学金(月額9万円)が支給される可能性がある。	募集締切	年6回募集 各回締切は募集要項を参照
人数	15名程度	問い合わせ先	国際連携推進室：taist@adm.isct.ac.jp

12 防災工学インターナショナルインターンシップ

国際大学院プログラム「レジリエントな都市更新に貢献する環境デザイナー育成プログラム」やこれに連動する「環境デザイン特別専門学修プログラム」で推奨する海外インターンシップで、実際に海外に赴き、現地でのカウンターパートの大学教員の指導のもと、現地学生と協働作業で、都市防災を対象とした調査・研究・資料収集・レポート作成並びに発表を行う。

こんな方にオススメ！ 短期間で専門分野の研修をしたい！

留学先	台湾 国立中央大学	期間	8月～9月の約2週間
主な応募資格	大学院課程学生(日本人学生・留学生) ※大学院科目「International Internship」履修者を優先とする	備考	
費用・奨学金	旅費(渡航費、滞在費等を含む10～15万円程度)は原則自費。	募集締切	5月(変更の可能性あり)
人数	10名程度	問い合わせ先	環境・社会理工学院 教授 千々和伸浩：chijiwa.n.2c82@m.isct.ac.jp

13 国際親善ロボットコンテスト(International Design Contest:IDCロボコン)

毎年異なるコンテストルールが初日に与えられ、国際混成チームを構成し、チーム毎に2週間でロボットを設計・製作して最終日にコンテストを行う。言葉の壁や異なる国の文化や習慣を超えて、協調してものを作る体験を通して国際的なものの作りの楽しさや楽しさを学ぶ。



こんな方にオススメ！ もの作りと異文化体験を同時にしたい！

<http://www.idc-robocon.org/index.html>

留学先	ブラジル・フランス・アメリカ・中国・タイ・韓国・シンガポール (2026年は日本で開催予定)	期間	7月から8月の2週間
主な応募資格	サイバーフィジカルソリューション受講者	備考	数年に一度日本で開催する、2026年は東京科学大学で開催。
費用・奨学金	(交通費・滞在費・参加費基本無料)	募集締切	毎年4月
人数	4名	問い合わせ先	サイバーフィジカルソリューションのガイダンス時に説明

14 国際的建築家育成を目指した国際デザインワークショップ

このプログラムでは、中国の上海および課題数地の都市に滞在し、現地の教員や学生等との共同により、約2週間の国際デザイン・ワークショップを行う。急速な発展を遂げている中国国内の建築・都市を視察し、調査および設計案の作成やプレゼンテーションを通して、真に国際性豊かな創造性を身につけることが期待される。

こんな方にオススメ！ 短期間で専門分野の研修をしたい！

留学先	中国・同济大学ほか	期間	11月下旬頃の15日間
主な応募資格	環境・社会理工学院 建築学系 修士課程	備考	
費用・奨学金		募集締切	8月上旬頃
人数	約15名	問い合わせ先	環境・社会理工学院 建築学系 村田涼： murata.r.ac@m.titech.ac.jp

15 創造的デザインとものづくりのための共同教育プログラム

デンマーク王立芸術アカデミー建築学部(Royal Danish Academy - Architecture, Design, Conservation)と本学環境・社会理工学院との部局間協定に基づく、建築・都市デザイン分野の大学院生を対象とする学生交流プログラムです。

こんな方にオススメ！ 海外の大学で設計スタジオやデザイン理論などの授業を履修したい！

<https://royaldanishacademy.com/apply-exchange>

留学先	デンマーク王立芸術アカデミー Royal Danish Academy - Architecture, Design, Conservation	期間	2セメスターまたは1セメスター(秋学期:9月～1月、春学期:2月～6月)
主な応募資格	環境・社会理工学院 修士課程または博士課程	備考	
費用・奨学金	自己負担(応募者が各自、奨学金を申請・取得することを強く奨励する)	募集締切	秋学期からの派遣は2月末、春学期からの派遣は8月末を予定
人数	1名(2セメスター)または2名(各1セメスター)	問い合わせ先	環境・社会理工学院 建築学系 村田涼： murata.r.ac@m.titech.ac.jp

16 伝統的文化資源を活用した都市観光学の育成プログラム

ベルギーのルーヴェン・カトリック大学建築学部(KU Leuven, School of Architecture)と本学環境・社会理工学院との部局間協定に基づく、建築・都市デザイン分野の大学院生を対象とする学生交流プログラムです。

こんな方にオススメ！ 海外の大学で設計スタジオやデザイン理論などの授業を履修したい！

<https://arch.kuleuven.be/english/studying/prospective-students>

留学先	ルーヴェン・カトリック大学建築学部 KU Leuven, School of Architecture	期間	2セメスターまたは1セメスター(秋学期:9月～2月、春学期:2月～7月)
主な応募資格	環境・社会理工学院 修士課程または博士課程	備考	
費用・奨学金	自己負担(応募者が各自、奨学金を申請・取得することを強く奨励する)	募集締切	秋学期からの派遣は2月末、春学期からの派遣は8月末を予定
人数	1名(2セメスター)または2名(各1セメスター)	問い合わせ先	環境・社会理工学院 建築学系 村田涼： murata.r.ac@m.titech.ac.jp

17 産業遺産のアダプティブリユースデザインの創生プログラム

イタリアのトリノ工科大学建築デザイン学科(Politecnico di Torino, Department of Architecture and Design)と本学環境・社会理工学院との部局間協定に基づく、建築学系の主に歴史意匠、都市景観、まちづくり分野の大学院生を対象とする学生交流プログラムです。

こんな方にオススメ！ 海外の大学で設計スタジオや歴史建築の保存・活用、都市環境デザインなどの授業を履修したい！

<https://www.polito.it/en/education/international-students/exchange-students>

留学先	トリノ工科大学建築デザイン学科 Politecnico di Torino, Department of Architecture and Design	期間	2セメスターまたは1セメスター(秋学期:9月～1月、春学期:2月～6月)
主な応募資格	環境・社会理工学院 建築学系 修士課程	備考	
費用・奨学金	自己負担(応募者が各自、奨学金を申請・取得することを強く奨励する)	募集締切	秋学期からの派遣は2月末、春学期からの派遣は8月末を予定
人数	2名(各2セメスター)または4名(各1セメスター)	問い合わせ先	環境・社会理工学院 建築学系 村田涼： murata.r.ac@m.titech.ac.jp



研究

数ヵ月程度、専門科目履修や研究室所属したい方

18 インペリアル・カレッジ・ロンドンとの研究留学プログラム(IROP)

インペリアル・カレッジ・ロンドンの夏休み時期にインペリアルとの研究室に滞在し、2ヵ月間にわたって受入教員の元で研究を行う。

こんな方にオススメ! 研究室に所属し研究活動したい!

https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/irop



留学先	インペリアル・カレッジ・ロンドンとの研究留学プログラム(IROP)	期間	7～8月の8週間
主な応募資格	本学正規課程の学士課程3年生以上及び修士課程学生(変更の可能性あり) 語学要件:CEFR B2(TOEIC 785、TOEFL ITP 543、TOEFL iBT 72、IELTS 5.5)	備考	25年度 インペリアルでの募集分野(参考) ・ Chemical Engineering ・ Physics ・ Materials ・ Dyson School of Design Engineering 各2名
費用・奨学金	授業料及び研究費は無料。住居費、航空券代、海外旅行保険料、その他の現地生活費は自己負担。奨学金の支給の可能性あり。	募集締切	2026年12月(予定)
人数	8名程度	問い合わせ先	国際教育課海外留学グループ: outbound@adm.isct.ac.jp

19 Summer Exchange Research Program (SERP)

工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院がSERP部局間協定を結んでいる大学の工学系研究室へ、本学に在籍したまま3ヵ月程度、研究留学するプログラム。

こんな方にオススメ! 研究室に所属し研究活動したい!

https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/serp



留学先	オックスフォード大学、ウォーリック大学、ソルボンヌ大学、エコール・ポリテクニーク、アーヘン工科大学、マドリッド工科大学、ウィスコンシン大学マディソン校、カールスタッド大学、バスク大学、ローマ・トルヴェルガタ大学、トリノ工科大学	期間	3ヵ月程度、60日未満不可 出発月:第1回募集 6～11月、第2回募集 12～5月
主な応募資格	● 工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院※に所属する 学士課程最終学年の学生及び大学院課程学生(国籍不問) ● TOEFL(iBT) 70点、TOEIC 650点相当以上の英語能力がある者。 ただし、これ以下の場合でも、現地語ができるなど特別な理由がある場合には、 その旨を記した理由書(様式任意)を添えて申請すること。 ※但し、社会人学生は対象外	備考	次の場合は本プログラムの支援の対象外 ● 特定の研究室に属して研究などを行うことなく、 講義受講等による単位取得を留学の主目的とする場合 ● 本学との共同研究をする場合 ● 学位論文研究等の一部を実施する場合 ● 博士課程学生の卓越大学院・越境型・IGPなどの オフキャンパス等、他プログラムの活動の一部としての 応募の場合 工・物・環学院合同学生国際交流プログラムとして 20番～23番合同で募集を行います
費用・奨学金	原則、授業料等不徴収。 派遣(留学)経費の一部を支援。(ウェブサイトで詳細を確認)	募集締切	第1回募集:12月締切 第2回募集:6月締切 募集告知は、全学ウェブサイト、学内電子掲示板等
人数	各校2名程度	問い合わせ先	国際交流支援チーム ポスト番号:H-106 内線:3859 メール:ko.intl@adm.isct.ac.jp



20 AOTULE Student Exchange Program (AOTULE)

工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院がSERP部局間協定を結んでいる大学の工学系研究室へ、本学に在籍したまま3ヵ月程度、研究留学するプログラム。

こんな方にオススメ! 研究室に所属し研究活動したい!

https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/serp



留学先	メルボルン大学(オーストラリア)、清華大学(中国)、国立台湾大学(台湾)、香港科技大学(中国)、バンドン工科大学(インドネシア)、韓国科学技術院(KAIST)(韓国)、インド工科大学マドラス校(インド)、マラヤ大学(マレーシア)、南洋理工大学(シンガポール)、チュラロンコーン大学(タイ)、ハノイ工科大学(ベトナム)、モラトゥア大学(スリランカ)	期間	3ヵ月程度、60日未満不可 出発月:第1回募集 6～11月 第2回募集 12～5月
主な応募資格	● 工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院※に所属する 学士課程最終学年の学生及び大学院課程学生(国籍不問) ● TOEFL(iBT) 70点、TOEIC 650点相当以上の英語能力がある者。 ただし、これ以下の場合でも、現地語ができるなど特別な理由がある場合には、 その旨を記した理由書(様式任意)を添えて申請すること。 ※但し、社会人学生は対象外	備考	①次の場合は本プログラムの支援対象外 ● 特定の研究室に属して研究などを行うことなく、 講義受講等による単位取得を留学の主目的とする場合 ● 本学との共同研究をする場合 ● 学位論文研究等の一部を実施する場合 ● 博士課程学生の卓越大学院・越境型・IGPなどのオフキャンパス等、 他プログラムの活動の一部としての応募の場合 ②本プログラム以外にも各AOTULE加盟大学が主催する短期交換留学プログラム(学士課程 学生含む)があるので、これらの詳細については国際交流支援チームまで問い合わせること。 工・物・環学院合同学生国際交流プログラムとして 20番～23番合同で募集を行います
費用・奨学金	原則、授業料等不徴収。 派遣(留学)経費の一部を支援。(ウェブサイトで詳細を確認)	募集締切	第1回募集:12月締切 第2回募集:6月締切 募集告知は、全学ウェブサイト、学内電子掲示板等
人数	各校2名程度	問い合わせ先	国際交流支援チーム ポスト番号:H-106 内線:3859 メール:ko.intl@adm.isct.ac.jp

21 Asia-Oceania Strategic Universities Exchange Program (AOSU) アジア・オセアニア重点大学交流プログラム

工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院がSERP部局間協定を結んでいる大学の工学系研究室へ、本学に在籍したまま3ヵ月程度、研究留学するプログラム。

こんな方にオススメ! 研究室に所属し研究活動したい!

https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/serp



留学先	武漢理工大学(中国)、国立成功大学(台湾)、国立台湾科技大学(台湾)、タマサート大学(タイ)、チェンマイ大学(タイ)、シンガポール工科・デザイン大学(シンガポール)	期間	3ヵ月程度、60日未満不可 出発月:第1回募集 6～11月、第2回募集 12～5月
主な応募資格	● 工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院※に所属する 学士課程最終学年の学生及び大学院課程学生(国籍不問) ● TOEFL(iBT) 70点、TOEIC 650点相当以上の英語能力がある者。 ただし、これ以下の場合でも、現地語ができるなど特別な理由がある場合には、 その旨を記した理由書(様式任意)を添えて申請すること。 ※但し、社会人学生は対象外	備考	次の場合は本プログラムの支援の対象外 ● 特定の研究室に属して研究などを行うことなく、 講義受講等による単位取得を留学の主目的とする場合 ● 本学との共同研究をする場合 ● 学位論文研究等の一部を実施する場合 ● 博士課程学生の卓越大学院・越境型・IGPなどのオフキャンパス等、 他プログラムの活動の一部としての応募の場合 工・物・環学院合同学生国際交流プログラムとして 20番～23番合同で募集を行います
費用・奨学金	原則、授業料等不徴収。 派遣(留学)経費の一部を支援。(ウェブサイトで詳細を確認)	募集締切	第1回募集:12月締切 第2回募集:6月締切 募集告知は、全学ウェブサイト、学内電子掲示板等
人数	各校2名程度	問い合わせ先	国際交流支援チーム ポスト番号:H-106 内線:3859 メール:ko.intl@adm.isct.ac.jp

22 工・物・環3学院主体の部局間交流協定、または大学間交流協定を結んでいる大学との交流

前項 SERP・AOTULE・AOSU 以外の大学で部局間交流協定や大学間交流協定を結んでいる大学への派遣・留学に対する 奨学金の給付。授業料不徴収の取り決めは無し。

こんな方にオススメ! 研究室に所属し研究活動したい!

https://www.titech.ac.jp/students/abroad/programs/serp



留学先	大学ウェブサイト・全学及び部局間協定一覧参照	期間	3ヵ月程度、60日未満不可 出発月:第1回募集 6～11月、第2回募集 12～5月
主な応募資格	● 工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院※に所属する 学士課程最終学年の学生及び大学院課程学生(国籍不問) ● TOEFL(iBT) 70点、TOEIC 650点相当以上の英語能力がある者。 ただし、これ以下の場合でも、現地語ができるなど特別な理由がある場合には、 その旨を記した理由書(様式任意)を添えて申請すること。 ● まず派遣交換留学プログラムへの応募を検討すること。 留学先大学での身分が派遣交換留学生(Exchange Student)の場合は 全学の派遣交換留学プログラムに応募し合格する必要がある。 ※但し、社会人学生は対象外	備考	次の場合は本プログラムの支援対象外 ● 特定の研究室に属して研究などを行うことなく、 講義受講等による単位取得を留学の主目的とする場合 ● 本学との共同研究をする場合 ● 学位論文研究等の一部を実施する場合 ● 博士課程学生の卓越大学院・越境型・IGPなどのオフキャンパス等、 他プログラムの活動の一部としての応募の場合 工・物・環学院合同学生国際交流プログラムとして 20番～23番合同で募集を行います
費用・奨学金	派遣(留学)経費の一部を支援。(ウェブサイトで詳細を確認)	募集締切	第1回募集:12月締切 第2回募集:6月締切 募集告知は、全学ウェブサイト、学内電子掲示板等
人数	指定なし	問い合わせ先	国際交流支援チーム ポスト番号:H-106 内線:3859 メール:ko.intl@adm.isct.ac.jp

23 物質理工学院学生交流プログラム

物質理工学院で交流協定を結んでいる大学・研究機関への派遣・留学



こんな方にオススメ! 研究室に所属し研究活動したい!

留学先	ジェノヴァ大学 (イタリア)、ワルシャワ大学 (ポーランド)、ヨンショーピン大学 (スウェーデン)、ドイツ航空宇宙センター (ドイツ)、マックスプランク研究所 (ドイツ)、イタリア学術会議・物質化学・エネルギー技術研究所 (イタリア)、フランス国立航空宇宙研究所 (フランス)、武漢理工大学 (中国)、大連理工大学 (中国)、ノルウェー工科大学・自然化学大学 (ノルウェー)、ブラウン・シュバイク工科大学 (ドイツ)、インド工科大学カラグラブル校 (インド)		
主な応募資格	● 物質理工学院の学生 ● 修士課程以上 (一部学士課程学生)	期間	3か月～ (2か月未満は応募不可)
費用・奨学金	別途、工・物・環学院合同学生国際交流プログラムに応募し、採択された場合は派遣経費の一部支援あり。不採択の場合でも、物質理工学院から一部支援が行われる場合がある。原則、授業料等不徴収。	募集締切	第1回募集: 11月締切 第2回募集: 5月締切
人数	各機関1名程度	問い合わせ先	物質理工学院国際担当: mct.intl@adm.isct.ac.jp

24 アーヘン工科大学博士課程学生共同指導プログラム

物質理工学院が学院単独で部局間協定を締結しているアーヘン工科大学電気工学・情報技術学部と学生を共同で指導するプログラム。参加学生は、博士課程中に自身の研究において両大学・両担当教員から指導を受けることができ、大学の学位審査に通った後は、大学からの学位に加え、アーヘン工科大学からプログラム修了証が授与される。



こんな方にオススメ! 研究室に所属し研究活動したい!

留学先	アーヘン工科大学 電気工学・情報技術学部	期間	博士課程在籍中に原則6か月以上 (通算でも可)
主な応募資格	物質理工学院所属の博士後期課程学生	備考	東京科学大学の学位に加えて、アーヘン工科大学からプログラム修了証が授与される。
費用・奨学金	原則自己負担だが、費用について物質理工学院から一部支援が行われる場合がある。原則、授業料等不徴収。	募集締切	原則、渡航開始4か月前の月末
人数	2名 / 年	問い合わせ先	物質理工学院国際担当: mct.intl@adm.isct.ac.jp

25 Science Tokyo - MIT Student Exchange Program (MITプログラム)

MITと大学の間の原子力系単位互換、授業料不徴収を伴う約4か月の学生交換プログラム。MITでは学部授業の広範な科目を選択可能。MIT 教員の指導の下、研究活動を行うこともできる。

こんな方にオススメ! 学生4年生の秋を有効利用したい! MITの研究室に所属し研究活動したい!!

留学先	マサチューセッツ工科大学 (MIT)、原子力科学工学科 (NSE) (アメリカ合衆国)	期間	学士課程 4年次 9月～12月末
主な応募資格	応募時に以下の系に所属する学士課程3年生で、留学時には学士課程4年生で特定課題研究が修了見込みの学生 (修了できない場合は留学取り消し)。修士進学する系に制約はなし、ただし早期卒業して留学することは不可。 ▶工学院 機械系 / 電気電子系 ▶物質理工学院 材料系 / 応用化学系 ▶環境・社会理工学院 融合理工学系 ● TOEFL iBT100点以上が MITの留学受入要件。 (派遣される年の1月末までに上記を取得できない場合は、留学取り消し) ● GPAは4.5スケールで3.2以上が目安。 ● MITは学生に対してIntellectual curiosity (知的好奇心)と研究に対する創造性あるSpark (ひらめき)を求めていることから、これに応じてMITでの学習、研究、交流活動に積極的に参加できる学生が好ましい。 ● MIT 学生は日本に深い関心を持っていることから、日本文化を身に修め、それを広める交流活動ができる学生が好ましい。	備考	世界最高峰のMITで、優れた学友、スタッフとともに切磋琢磨して最新の技術トレンドを学べる。 MITの提供するほぼ全ての学部授業科目から自由に36単位以上を履修。ただし、"Introduction of Nuclear Physics and Engineering"のみ必修科目。MIT教員の指導に基づく Undergraduate Research Opportunity Program (UROP) で研究活動も可能。
費用・奨学金	なし (応募者が各自、外部奨学金を申請・取得することを強く奨励する)	募集締切	派遣前年 (学士3年) の6月末予定
人数	2名	問い合わせ先	MITプログラム事務局: ポスト番号: H-106 内線: 3859 メール: mitp@adm.isct.ac.jp



ダブルディグリー

本学と協定校の2つの学位取得を目指す方

26 東京科学大学・清華大学 大学院合同プログラム

中国の清華大学と東京科学大学の双方に修士課程学生として在籍し、両大学の教員の指導を受けながら研究を行い、両大学の修士号取得を目指すダブルディグリープログラム。修了に要する標準期間は本学学生で2年6ヵ月、清華大生で3年間。(清華大学への留学期間約1年間)。ナノテクノロジーコース、バイオコース、社会理工学コースの3コースから選択可能。(使用言語: 中国語、日本語、英語)



こんな方にオススメ! 海外の大学で学位を取得したい!

http://www.ipو.ritech.ac.jp/tsinghua/

留学先	中国・清華大学	期間	2年6ヶ月 (留学期間約1年間)
主な応募資格	学士の学位を有していること (見込みを含む)	備考	● 入学試験出願の際に本プログラムを志望し、入試に合格する必要がある。 ● 中国籍の学生は応募できない。 ● 日本国籍以外の学生は事前に相談すること。
費用・奨学金	● JASSO海外留学支援制度 ● トビタテ!留学JAPAN新・日本代表プログラム ● 中国政府奨学金 ● その他奨学金等に応募資格あり ● 留学先学費: 免除 ● 往復渡航費: 15万円程度 ● 留学先生活費: 70万円～200万円程度 (中国政府奨学金の獲得状況により変化)	募集締切	2026年6月10日
人数	10名程度	問い合わせ先	【プログラムに関すること】 国際教育課 (清華事務局): tsinghua.program@adm.isct.ac.jp 【入試に関すること】入試課: inquiries.grad.se@adm.isct.ac.jp

27 L'École des Ponts ParisTech (ボンゼジョセ) とのデュアルディグリープログラム

フランス L'École des Ponts ParisTechとの部局間協定に基づいた学習を修了し、最短3年間で双方の大学からそれぞれ修士号を取得する。(使用言語: フランス語)

こんな方にオススメ! 海外の大学で学位を取得したい!

留学先	L'École des Ponts ParisTech (ボンゼジョセ)	期間	学士4年で応募し、修士課程1年の4月からプログラムに参加する場合、基本は3年間 (フランスにてフランス語研修0.5年とL'École des Ponts ParisTech正規課程1.5年の計2年間、本学にて1年間)
主な応募資格	工学院、物質理工学院、環境・社会理工学院所属の修士課程学生 ※修士課程1年の4月から参加希望の場合は、本学学士課程4年次に応募する	備考	
費用・奨学金	ボンゼジョセでの学費、保険加入料、住居費、その他生活費は自己負担となるが、各種奨学金への応募は可能	募集締切	6月中旬 (予定)
人数	数名	問い合わせ先	環境・社会理工学院 教授 千々和伸浩: chijiwa.n.2c82@m.isct.ac.jp

28 韓国科学技術院－東京工業大学 ダブルディグリープログラム

韓国科学技術院 (KAIST) との部局間協定に基づいた学習を修了し、標準2.5年間でKAISTからMaster of Science・本学から修士 (工学) の学位を取得する。(使用言語: 英語)

こんな方にオススメ! 海外の大学で学位を取得したい!

留学先	韓国科学技術院 (KAIST)	期間	2.5年間 (本学に1.5 年と韓国科学技術院正規課程に1年)
主な応募資格	工学院機械系・システム制御系に在籍中の修士課程学生もしくは進学予定の本学学部4年生 (KAISTによる選考がある)。	備考	オンラインでの実施に切り替わる可能性なし (ただし渡航延期によるオンラインでの講義受講など是有り得る) コースオリエンテーションでプログラムの紹介を行う。
費用・奨学金	奨学金なし。ただし韓国科学技術院の学費は免除される。	募集締切	4月・10月 (予定)
人数	若干名	問い合わせ先	kaist.eng@jim.ritech.ac.jp

29 台湾国立陽明交通大学とのダブルディグリープログラム

台湾国立陽明交通大学との協定に基づいた学習を修了し、最短2年間で双方の大学からそれぞれ修士号を取得する。(使用言語: 英語)

こんな方にオススメ! TSMCやMediaTeKなど台湾半導体産業の中心にある大学で学位を取得したい!

留学先	台湾国立陽明交通大学	期間	台湾国立陽明交通大学での滞在期間は最短1年間
主な応募資格	工学院電気電子系に進学予定の本学学士課程4年生 物質理工学院修士課程に進学予定の本学学士課程4年生 (台湾国立陽明交通大学が選考を行う)	備考	
費用・奨学金	台湾国立陽明交通大学の授業料免除及び奨学金等支給	募集締切	3月
人数	数名	問い合わせ先	工学院: inquiry@ee.e.ritech.ac.jp 物質理工学院: mct.intl.adm@jim.ritech.ac.jp

30 IAESTE／理工系学生のための国際インターンシップ

IAESTEは、理工学系学生のための国際インターンシップ（最短8週間～最長52週間・海外企業又は海外の教育、研究機関等での現場研修）を仲介している国際非政府団体。広い国際的視野を有するエンジニアを養成することを目的として、これまでに国内外で約37万人の学生を相互交換している。詳細についてはWebサイトを参照。Science Tokyoからは例年2～5人程度の参加者がいる。



 こんな方にオススメ! 海外でインターンシップをしたい

 <http://www.iaeste.or.jp/>

派遣先	IAESTE加盟国(約80カ国)	期間	8週間～52週間(夏期2～3ヶ月が一般的)
主な応募資格	<p>●研修開始時に、日本の大学の学士課程3年生以上及び大学院課程に在籍している者</p> <p>●英語要件: ①Exchange Internship ②Global Internship) TOEFL iBT:①62②88, TOEFL ITP:①503 ②570, IELTS:①5.5 ②6.5, ケンブリッジ英検 ①B2 First ②C1 Advanced, 英検(実用英語技能検定)①②準1級, TOEIC Listening/reading ①600 ②800, TOEIC Speaking/Writing ①240 ②300</p> <p>●国籍不問</p>	備考	
費用・奨学金	研修先より滞在費支給 参加費 55,000円、渡航費、ビザ取得費、海外旅行保険費等は 自己負担	募集締切	派遣前年度の9月下旬(本募集) 派遣年度の4月下旬(追加募集)
人数	定員なし	問い合わせ先	IAESTE事務局:outbound@adm.isct.ac.jp

31 ヴルカヌス・イン・ヨーロッパプログラム

日本の理工系学生を対象に 1 年間 EU 加盟国で研修を行うプログラムです。語学研修と企業研修（インターンシップ）で構成されており、語学研修では、企業研修で使用する言語の習得をめざし、企業研修に臨みます。



 こんな方にオススメ! 海外でインターンシップをしたい

 <https://www.eu-japan.eu/ja/training-young-scientists-engineers-vine>

派遣先	EU加盟国企業	期間	9か月(6月～翌3月まで)
主な応募資格	応募時点で、日本の大学において理工学系の学士課程3～4年生、大学院に在学している者。日本国籍保持者。英語要件あり。	備考	主催団体に直接応募。
費用・奨学金	日本出発時に80万円、現地にて1,000ユーロ程度／月支給。(年度ごと変動あり) 欧州セミナー受講料、語学研修中の授業料およびホームステイ代(寮費)は日欧産業協力センターが負担。	募集締切	前年度9月下旬
人数	20名程度(2026年度)	問い合わせ先	一般社団法人 日欧産業協力センター VinE@eu-japan.gr.jp



留学と就職活動について

留学に行ってみたいけれども、日本でインターンシップや就職活動があり、留学と就活を両立できるのか、ということで迷われる人は結構多いでしょう。ただ、スケジュールをきちんと押さえて、ある程度の準備をして臨むことで、留学と就職活動を両立した大学の先輩はたくさんいます。



キャリア
アドバイザー

守島利子
マネジメント教授

■ 企業は留学経験者をどのように思うのか

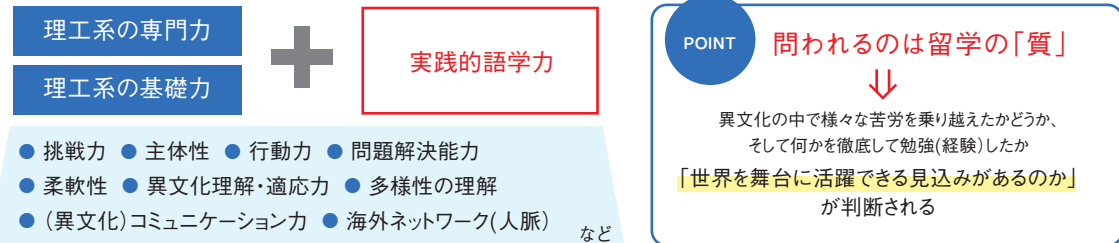
就職はその企業に自分が入りたいという気持ちだけでは成立しません。企業の人
がその人を採用したいと思わなければ入社は叶わないのです。では、企業は留学
経験者をもとに思うのでしょうか？企業が留学経験者を採用する理由というこ
とで、「優秀な人材の確保のため」ということが回答の約8割というデータがありま
す。何をもって優秀とするのかは、例えば、海外の知らない場所で母国語とは違う
言語で授業や研究内容を理解して修得する、これは優秀でない？と難しいこと
です。また、そういう学問や知識に関することだけでなく、留学に行っていない学生と比
べて、主体性、実行力、柔軟性などがあるということも高く評価していない学生と

に、これらの力は経済産業省が提唱した「社会人基礎力」(社会の中で活躍し続けるために求められる力)の中でも、企業が採用選考時に重視する力として上位に挙げられているものです。ある程度、長期の留学となる「留年」ということもあります。これに関しても「特に気にしない」としている企業が7割以上あります。また、各企業はグローバルなビジネス展開をしており、世界で活躍できる人材を求めています。もう一歩進んで「ダイバーシティ&インクルージョン」(多様性を受け入れて個性を認め一体となって働くこと)を掲げている企業もあり、これを理解でき実践できることに留学経験は大きく影響するものだと思います。

■ 本学留学経験者の企業へのアピールポイント

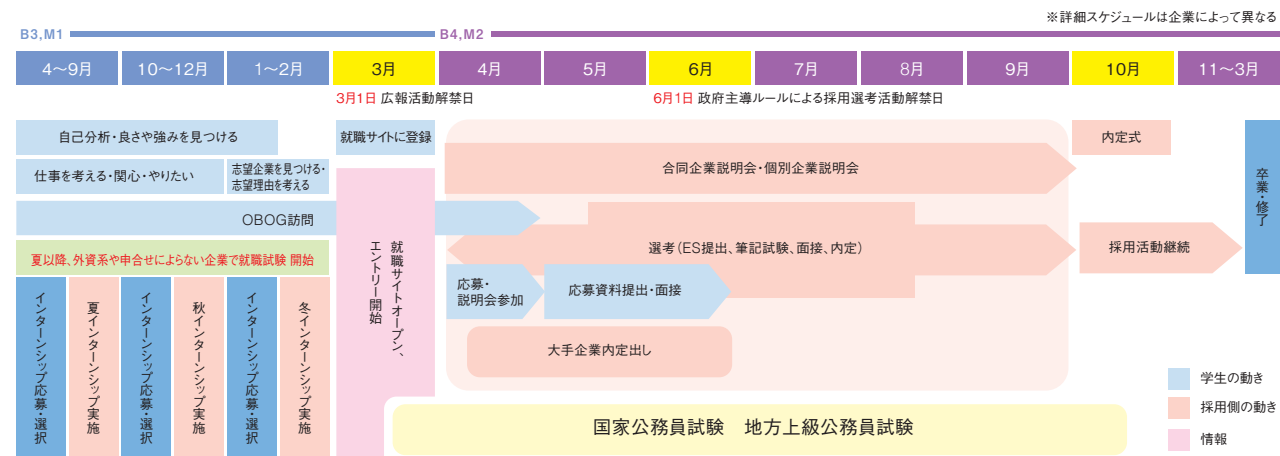
2023年度の文部科学省のデータによると、海外に留学した日本人学生の数は約89,000人で、これは大学在学者全体の約3.4%に相当します。そのうち、1か月以上の留学経験がある学生は約1%にとどまっています。皆さんは、この数値をどう見でしょうか？ 文系学生も含めた全学生のデータであり、理工系学生だけで捉えると、もっと割合は少なくもなります。留学に行く人が少ないので不安を感じるかもしれません。しかし、得るものも多々あります。希少な経験であり、他の学生との差別化に繋がることにもなります。しかし、ただ留学すれば良いというのではなく、その中で経験や学びが問

われます。ようやく現地に慣れてきた頃だったり、語学研修だけでなんとなく感覚がつかめてきた頃に帰ってくるとなると、就活の場ではあまり評価はされないでしょう。日本人がいない環境で語学・学問に集中するとか、他国の人と一緒に行動をして、その人たちの考え方、その背景にある文化を知ったりなど、ダイバーシティ&インクルージョンを体感するくらいであればいいと思います。留学経験で「問われるのは質」。これは特に意識してください。



■ 就職活動に関わるスケジュール

日本政府が企業に要請している就職に関するスケジュールです。これは2027年3月卒業・修了の学生まで適用されます。それ以降に関しては、今後の発表に注意してください。また、現状では就職活動の時期は早期化しています。キャリアアドバイザー主催のガイダンス等で情報をください。



留学と就職活動の時期が重なるのであれば、その前に業界や企業研究をしておいたり、低学年対象のインターンシップもあるので、そういうものを活用することもできます。また、今はネットを使って企業にエントリーしたり、ウェブサイトから企業研究をすることもでき、面接もオンラインという企業が多いので、海外から就職試験を受けることも可能となっています。留学、就職活動に関して悩んだり困ったりしたら、是非、キャリアアドバイザールームに相談にいらしてください。



<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/career/counseling>

結論

- 留学と就職活動を両立させるのは、やり方次第で十分に可能。
- 留学による1年程度の遅れは、長いキャリアの中では大きな問題ではない。大学の留学プログラムを効果的に活用しよう。
- 実践的な語学力アップの他、主体性・行動力・柔軟性等が養われ、広い視野を持ち、海外人脉を築くことも可能。社会に出てからも必要なことが身につく。
- 留学への挑戦や、現地での問題解決、異文化コミュニケーションと多様性の理解等を経験することは、これからの（職業）キャリアに有益。
- 企業でのグローバルな活躍が期待される今、「理工系＋良質な海外経験」は、就職活動でもかなりの強みとなる。

派遣交換留学とは

東京科学大学と授業料等不徴収協定を結んでいる海外の大学（協定校）が1学期～1年間学生を交換する留学プログラムです。現地の大学では自身の専攻に応じた授業履修・研究、課外活動を通じて様々な経験ができます。本プログラムに参加する学生は将来のキャリアを見据えて計画立案から実行、振り返りまでを丁寧に行うことで、グローバルに活躍できる人材になることを目指します。



問い合わせ先	国際教育課
Taki Plaza B1F E-mail: outbound@adm.isct.ac.jp	

派遣交換留学のポイント

- 世界トップレベルの大学への留学
東京科学大学の協定校は世界的にも評価の高い教育機関です。事前に多くの情報が得られやすく、現地でのサポートも充実しています。
- 交換留学生として優遇
現地語の授業を無料で受講できたり、交換留学生として協定校からのサポートが多く受けられます。
- プログラム付属で返済不要の奨学金に申請可能
支給額や支給可能人数は年度・地域によって変動しますが、大学推薦を得ることで、各種民間財団や協定校が提供する奨学金にも応募が可能です。
- 留学先の協定校では授業料の支払い不要
留学期間中の身分は「休学」ではなく「留学」となるため、在籍年限に含まれ、留学先の授業料は不要です。
- 留学で取得した単位は
本学の単位として認定可能

応募条件

- 応募時・留学中・留学終了時に、本学正規課程に在籍する学生（私費留学生も応募可）
- 協定校が定める交換留学生の資格・条件を満たすもの（語学要件・GPA・所属学院・学年等）
- 語学要件が英語のみの場合の学内最低基準：TOEFL iBT 60 / IELTS 5.5 / TOEFL ITP 497

募集人数

全75の協定校へ、合計約200名が留学可能

留学までの道のり



学内選考に向けた準備					学内選考	学内選考通過してから、渡航までの準備				✈️ 出発！
出発の1年半～1年前						出発8か月前	出発6か月前	出発3か月前	出発3か月～1か月前	
To Do リスト	●「留学」を本格的に検討 ●留学コンシェルジュの活用 ☑ 計画の立て方 ☑ 留学先の決め方 ☑ 奨学金について	●留学の具体化に向けた計画書の作成 ●留学期間も含めた学修計画全体を指導教員等と相談	●留学関連イベントへの参加 ☑ 留学フェア（毎年春に開催） ☑ 留学報告会や座談会（随時開催） ☑ 募集説明会（随時開催） ☑ 各国大使館等の外部主催イベント	●応募書類の準備 ☑ 英文エッセイの作成 ☑ 面接対策 ●語学スコアの取得		●大学推薦/個人応募の奨学金へ応募 ●協定校への出願準備 ☑ CVやMotivation letterの作成	●協定校への出願	●協定校から受入許可書受領 ●渡航前オリエンテーションへの参加 ●滞在先の確保 ●Visa等の準備	●渡航前の学内手続 ●海外旅行保険加入 ●航空券の手配等	
	●English Caféへ参加	●学内語学集中講座の受講（夏期・春期開講）	●本学開講の英語科目への積極参加			●English Caféへ参加 ●本学開講の英語科目への積極参加	●学内語学集中講座の受講（夏期・春期開講）			
継続して強化（各種語学試験の準備、受験）						英語だけでなくドイツ語やフランス語など、留学先の現地語の授業への参加				

募集選考スケジュール

募集回	対象出発時期	学内応募締切	面接時期
秋出発本募集	2027年7月-12月	2026年 9月	2026年 10月
秋出発追加1次募集		2026年 12月	2027年 1月
秋出発追加2次募集		2027年 4月	2027年 4月
春出発本募集	2028年1月-6月	2027年 5月	2027年 6月
春出発追加募集		2027年 6月	2027年 7月

参考情報 留学中にかかる費用の目安（2024年-25年派遣・期間6か月）

※ 為替や世界情勢、生活スタイル等でかかる費用は大きく変わります。

アジアに留学する場合

- ・渡航費：10-15万円
- ・住居費：5-7万円/月
- ・生活費：3-6万円/月
- ・その他：2-7万円/月

合計金額
約70-90万円

北米・ヨーロッパに留学する場合

- ・渡航費：20-30万円
- ・住居費：8-13万円/月
- ・生活費：10-15万円/月
- ・その他：10-15万円/月

合計金額
約100-200万円

※【その他】には各種保険、ビザに関する費用、教科書代等が含まれます。



バスク大学に留学中の後藤さんからの便利

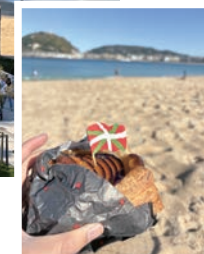


後藤 玄 さん
環境・社会理工学院建築学系
建築学コース 修士2年

Hola. 後藤です。私は今、スペイン北部、バスクにいます。美しい海と、豊かな食のある街。最近はこの人間にゾッコンです。彼らのふるまい、話し方、行動原理。二ヶ月が過ぎ、なんとなくわかってきたようで、まだよくわからない。わかるためには、時間が必要だし、もっと彼らの言葉も話せるになりたい。彼らは、食と一体です。街中の至るところに、カフェとバー。その陽気な喧騒は、店から外へこぼれ出ます。パン屋、八百屋、精肉屋。それぞれの店構え、品揃え、やりとりは、人間模様を浮かび上がらせてます。私の住む横浜は、こんなふうだったろうか。都市の規模や構造も、呼吸の仕方も、まるで違う。まったく違う場所にいることが、自分の生い立ちを振り返るきっかけになります。異文化に深く触れる経験が、建築史を扱う上で欠かせない、失われた形や目に見えない背景を想像する力を育てています。日本に帰ったら、新しい自分をもって、日本建築史を見つめ直そう。そう思います。この冬は、スペイン南部、アンダルシアへ向かいます。新しい発見が、楽しみです。では、Hasta luego.



海沿いの光景。
私のお気に入り



Manzana



派遣交換留学対象校一覧

国・地域名	大学名	募集人数	英語要件		GPA 要件	その他特記事項
			IBT	IELTS		
北東アジア (NORTH EAST ASIA)						
韓国 KOREA	ソウル国立大学 Seoul National University	2	75	6.0	学士: 2.5/4.0 修士: 3.0/4.0	
	韓国科学技術院 Korea Advanced Institute of Science and Technology (KAIST)	4	80	6.5	3.0/4.3	
	ポーハン科学技術大学 Pohang University of Science and Technology (POSTECH)	3	79	6.0	3.0/4.3	
	高麗大学 Korea University	2	60	5.5	2.5/4.0	
	延世大学 Yonsei University	3	79	6.5	2.5/4.0	
	漢陽大学 ソウルキャンパス Hanyang University SEOUL	2			60%+	
	漢陽大学 エリカキャンパス Hanyang University ERICA	1	72	5.5	60%+	
中国 CHINA	清華大学 Tsinghua University	2	60	5.5	—	
	上海交通大学 Shanghai Jiaotong University	2	90	6.0	3.0/4.0	
	浙江大学 Zhejiang University	3	88	6.0	—	
	同済大学 Tongji University	2	79	6.5	一部設定有 3.0/4.0	
	西安交通大学 Xi'an Jiaotong University	3	80	6.0	—	
	大連理工大学 Dalian University of Technology	2	80	5.5	70/100	
	香港科技大学 The Hong Kong University of Science and Technology (HKUST)	2	75	6.0		
	中国科学技術大学 University of Science and Technology of China	2	79	6.0	3.0/4.0	
台湾 TAIWAN	国立台湾大学 National Taiwan University	3	72	5.5	3.0/4.0	
	国立清華大学 National Tsing Hua University	3	79	6.0		
	国立中央大学 National Central University	3	60	5.5	一部あり	
	国立陽明交通大学 National Yang Ming Chiao Tung University	2	60	5.5		
東南、南アジア (SOUTH EAST ASIA, SOUTH ASIA)						
フィリピン PHILIPPINES	フィリピン大学ディリマン校 University of the Philippines Diliman	2	60	5.5		
	デラサル大学 De La Salle University	2	79	6.0	3.0/4.0	
ベトナム VIETNAM	ハノイ工科大学 Hanoi University of Science and Technology	2	60	5.5	2.5/4.0	

国・地域名	大学名	募集人数	英語要件		GPA 要件	その他特記事項
			IBT	IELTS		
タイ THAILAND	チュラロンコン大学 Chulalongkorn University	3	79	6.0	2.75/4.0	
	カセサート大学 Kasetsart University	3	60	5.5	2.0/4.0	
	タマサート大学 Thammasat University	5	61	5.5	2.5/4.0	
	キングモンクット工科大学ラカバン校 King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang (KMITL)	3	79	6.0	2.5/4.0	
	キングモンクット工科大学トンブリ校 King Mongkut's University of Technology Thonburi (KMUTT)	2	60	5.5		
	アジア工科大学院 Asian Institute of Technology (AIT)	2	60	5.5		
	マヒドン大学 Mahidol University	2	69	6.0	2.75/4.0	
インドネシア INDONESIA	インドネシア大学 University of Indonesia	3	80	6.0	3.0/4.0	
	バンドン工科大学 Bandung Institute of Technology (ITB)	5	60	5.5		
	ガジャマダ大学 Gadjah Mada University	2	70	5.5		
シンガポール SINGAPORE	シンガポール国立大学 National University of Singapore (NUS)	年度ごと 調整	75	6.0	3.5/4.0	
	南洋理工大學 Nanyang Technological University	年度ごと 調整	90	6.0	CGPA 3.3/5.0	
インド INDIA	インド工科大学マドラス校 Indian Institute of Technology Madras (IIT Madras)	2	60	5.5		
オセアニア (OCEANIA)						
オーストラリア AUSTRALIA	メルボルン大学 University of Melbourne	5	79	6.5	Avr. 70%+	
北欧 (NORDIC COUNTRIES)						
フィンランド FINLAND	アアルト大学 Aalto University	5	72	6.0		建築: 1名 (年間)
	ラッペンランタ-ラハティ工科大学 Lappeenranta-Lahti University of Technology	2	90	6.5		
スウェーデン SWEDEN	スウェーデン王立工科大学 KTH Royal Institute of Technology	5	65	6.0		
	シャルマーズ工科大学 Chalmers University of Technology	3	65	6.0		
	リンシェーピング大学 Linköping University	3	65	6.0		

国・地域名	大学名	募集人数	英語要件		GPA 要件	その他特記事項
			IBT	IELTS		
スウェーデン SWEDEN	ウプサラ大学 Uppsala University	3	65	6.0		
ノルウェー NORWAY	ノルウェー工科・自然科学大学 Norwegian University of Science and Technology (NTNU)	3	90	6.5		
デンマーク DENMARK	デンマーク工科大学 Technical University of Denmark (DTU)	2	72	6.0		
西欧 (WESTERN EUROPE)						
オランダ NETHERLAND	デルフト工科大学 Delft University of Technology (TU Delft)	5	90	6.5		Facultyごとに 派遣枠数制限あり
ベルギー BELGIUM	ゲント大学 Ghent University	2	87	6.0		
イギリス U.K.	ヨーク大学 University of York	3	専攻によって 異なる		3.0/4.0	
	ストラスクライド大学 University of Strathclyde	5	×	6.0		
ドイツ GERMANY	ミュンヘン工科大学 Technische Universität München (TUM)	4	65	5.5		
	アーヘン工科大学 RWTH Aachen University	10	65	6.0		
	ベルリン工科大学 Technische Universität Berlin (TU Berlin)	3	87	5.5		
	シュツツガルト大学 University of Stuttgart	5	72	5.5		
	ハノーバー大学 University of Hanover	3	65	6.0		
フランス FRANCE	ボンゼジョセ École nationale des ponts et chaussées	2	【仏語】学部により 異なる			
	ストラスブール大学 University of Strasbourg	3	【仏語】 DELF B1 相当以上			
	アール・ゼ・メティエ École nationale supérieure d'arts et métiers	3	81	6.0		
	エコール・デ・ミヌ・ド・パリ École nationale supérieure des mines de Paris (MINES ParisTech)	3	【仏語】 CEFR B1以上			
	エコール・ポリテクニーク École Polytechnique	2	94	6.0	3.0/4.0	
	レンヌ大学 The University of Rennes	5	65	6.0		
	パリ建築大学ヴィレット校 ENSA PARIS La Villette	2	【仏語】 DELF B1 相当以上			
	グルノーブル工科大学 Grenoble Institute of Technology	2	65	6.0		
スイス SWITZERLAND	スイス連邦工科大学チューリッヒ校 Eidgenössische Technische Hochschule Zürich (ETH Zurich)	年度ごと 調整	75	6.0		
	スイス連邦工科大学ローザンヌ校 Swiss Federal Institute of Technology in Lausanne (EPFL)	3	75	6.0		
	チューリッヒ大学 University of Zurich	3	90	6.5		

国・地域名	大学名	募集人数	英語要件		GPA 要件	その他特記事項
			IBT	IELTS		
イタリア ITALY	ミラノ工科大学 Politecnico di Milano	7 セメスター	65	6.0		デザイン：1セメ 建築：2セメ エンジニアリング：4セメ
	ボローニャ大学 University of Bologna (UNIBO)	2	65	6.0		
オーストリア AUSTRIA	ウィーン工科大学 Vienna University of Technology (TU Wien)	2	78	6.0		
スペイン SPAIN	バスク大学 University of the Basque Country	2	72	5.5		
中東 (MIDDLE EAST)						
トルコ TURKEY	中東工科大学 Middle East Technical University (METU)	3	79	6.5		
	イスタンブール工科大学 Istanbul Technical University	2	学士：72 修士：78	×	2.5/4.0	
	ボアージュチ大学 Boğaziçi University	2	79	6.5		
北米 (NORTH AMERICA)						
カナダ CANADA	ウォータールー大学（学士課程学生） University of Waterloo, undergraduate	4	90	6.5	Avr.70% 建築: Avr. 75%	
	ウォータールー大学（修士課程学生） University of Waterloo, graduate		専攻によって 異なる		Avr.75%	
	モントリオール理工科大学 POLYTECHNIQUE MONTREAL	1	90	6.5	2.5+/4.0	
アメリカ合衆国 U.S.A.	ワシントン大学 University of Washington	年度ごと 調整	76	6.0	3.0/4.0	
	ジョージア工科大学 Georgia Institute of Technology	年度ごと 調整	95	7.0		





留学奨学金情報

独立行政法人日本学生支援機構、各民間財団、日本の都道府県や市区町村、留学先の政府などが、海外留学する学生に奨学金を提供しています。留学費用が心配という方は経済的な理由で留学を諦める前に、奨学金で留学できる道がないか探してみることをお勧めします。



奨学金に関する詳細及び最新情報はこちら： <https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/students/abroad/scholarships>

本学に在籍しながら留学する学生向けの奨学金

本学に在籍しながら留学する学生が応募できる奨学金については、大学を通じて応募するものと個人応募のものに分類されます。また、本学の留学プログラムであれば、奨学金が付帯されているものも多数あります。詳しくは、国際教育課までお問い合わせいただくほか、上記ウェブサイトをご覧ください。

学位取得留学する学生を支援する奨学金

本学を卒業後、海外大学の修士課程 / 博士課程に学位取得を目的に長期留学する学生に対して、各民間財団が提供する奨学金です。ここでは本学を通して応募する奨学金を紹介します。

※応募締切は留学予定前年度です

問い合わせ先：国際教育課
outbound@adm.isct.ac.jp

吉田育英会 日本人派遣留学プログラム

web <https://www.ysf.or.jp/scholarship/visitor/universal/overseas.php>

留学先：海外の大学院等 | 期間：2年間（博士課程への留学の場合1年以内の延長を認める場合あり） | 人数：5名程度[本学推薦枠：2名] | 募集締切：8月頃

主な応募資格： ▶ 学士課程最終学年の者、大学院課程学生、本学教職員 ▶ 日本国籍を有する者
▶ 留学先で支障なく勉学・調査・研究を行う語学力のある者 ○ 英語圏／専攻分野が理系の場合：iBT88点、IELTS6.5、専攻分野が文系の場合：iBT100点、IELTS7.0以上 ○ 英語圏以外／当該国の言語を主に研究に使用する場合はZD（ドイツ語）・DAPF（フランス語）等の試験を予め受験すること

奨学金： ▶ 生活滞在費 月額2500米ドル ▶ 授業料または研究費 奨学期間内に合計250万円以内 ▶ 往復渡航費

竹中育英会 海外留学奨学生

web <https://www.takenaka-ikueikai.or.jp/recruitment.html>

留学先：海外の大学院等 | 期間：原則として修士2年、博士3年以内（修士・博士号合わせて原則5年以内） | 人数：3～5名程度[本学推薦枠：2名] | 募集締切：8月頃

主な応募資格： ▶ 学士課程最終学年の者、大学院課程学生 ▶ 日本国籍を有する者 ▶ 大学における学業成績が本会の基準を満たし、更に学業の発展向上が期待できる者
▶ 留学先での研究に十分な語学力を有していること[TOEFL iBT 88点（ITP 570点）以上、IELTS 6.5以上]の英語コミュニケーション能力を有する者。
または、留学先に受け入れ基準がある場合はそれを満たしていること

奨学金： ▶ 授業料等大学納付金として250万円を上限とする実費 ▶ 滞在費・渡航費等に充当するものとして年額250万円を上限とする費用

KDDI 財団 日本人留学生助成

※医歯学系の学生も対象

web <https://www.kddi-foundation.or.jp/support/japanese/>

留学先：海外の大学院等 | 期間：最長2年間 | 人数：4名程度[本学推薦枠：5名] | 募集締切：8月頃

主な応募資格： ▶ 大学院課程学生 ▶ 日本国籍を有する者（在日外国人、二重国籍、日本永住権を有する者は応募不可） ▶ 法律、政治、経済、社会、文化、技術の各分野において、国際的視野に立ち、社会に貢献するテーマで研究に取り組んでいる者※情報通信分野の進歩、発展に貢献するものを優先

奨学金： 月額25万円

経団連国際教育交流財団 日本人大学院生奨学生

web <http://www.keidanren.or.jp/japanese/profile/ishizaka/#ishizaka>

留学先：海外の大学院等 | 期間：最長2年 | 人数：2名[本学推薦枠：制限なし] | 募集締切：8月頃

主な応募資格： ▶ 大学院課程学生（研究生は応募不可） ▶ 日本国民 ▶ 在学期間が修士・博士両課程通算満5年以内の者 ▶ 広く社会に貢献し、将来アカデミアの世界で、研究者として活躍する意思を持つ者 ▶ 英語圏へ留学希望の場合、TOEFL iBT92点以上もしくはIELTS 6.5以上であること ▶ 英語圏以外へ留学希望の場合、当該国の公用語を主に研究に使用する場合、ZD（ドイツ語）・DAPF（フランス語）等の試験を予め受験していること

奨学金： 年間350万円を一律支給（使途は留学先の学費、生活費等、留学に関わる支出に限る）

日本学生支援機構海外留学支援制度（大学院学位取得型）

web <https://www.titech.ac.jp/international-student-exchange/pdf/jassodaigakuin-boshuyoko-20250901.pdf>

留学先：海外の大学院 | 期間：修士の学位取得を目的：2年以内／博士の学位取得を目的：原則3年以内
※単年度毎に奨学金及び授業料支給。奨学金継続の可否は年度毎に行う。 | 人数：未定 | 学内募集締切：9月末頃

主な応募資格： ▶ 学士課程最終学年の者、大学院課程学生、卒業生 ▶ 既に留学を開始している者も応募可 ※卒業生については個人でJASSOに直接応募 ▶ 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者 ▶ 語学能力が次の水準以上である者①TOEFL iBT95点又はIELTS6.5(Academic Module)以上
②留学先大学が求める語学能力が上記①以上である場合は、留学先大学が求める語学能力以上※留学先大学での主たる使用言語が英語以外の者は別規定。
▶ 大学学部以後の直近の学業成績：総在籍期間における累積GPAが3.00（最高値を4.00とした場合）以上

奨学金： ▶ 月額17.7万円～38.8万円を予定※留学先地域により支給金額は異なる。新規採用者に対し、支援開始時に渡航支援金1万円を支給する
▶ 授業料としては支給しない予定（上記奨学金月額に含む）※予算の編成過程において詳細決定予定。

上記支援の内容及び応募資格は2026年度派遣募集要項より抜粋しています。最新の情報は、随時留学奨学金情報サイトで確認してください。



先輩からのメッセージ

留学の先には、今の自分が想像もできないような未来が待っていることがあります。踏み出した一歩が人生を変えた先輩方からのメッセージをお届けします！

01



太田聖也さん
理学院 化学系
化学コース修了

1か月の語学研修から海外でPhD取得へ

修士1年の夏、授業にも研究にも自信を持てず、「何かを変えなければ」と思い立ち、人生で初めて海外に出ることを決めました。それがTASTE 海外短期語学学習でのカナダ留学です。英語はほとんど初心者で、授業を理解することも難しく、振り返れば旅行のような短い滞在でしたが、「自分の力で海外に行き、やり切った」という経験が大きな自信になりました。帰国後、「もう一度挑戦したい」という気持ちが強まり、修士課程を1年延長して研究留学を実現。この留学ではヒタテ!留学 JAPAN に採択され、主体的に研究に取り組む楽しさを知りました。

た。ボストンでのキャリアフォーラムでは日本ベイントホールディングスから内定をいただき、就職という新たな道も開けました。しかし、留学を通じて抱いた「海外で博士号を取得したい」という夢をどうしても諦められず、安定した職を辞め、自費で再びカナダへ渡りました。現在はブリティッシュコロンビア大学で博士課程に在籍し、国際学会での発表や共同研究を通して、世界中の研究者と議論を重ねています。今では日本だけでなく海外でのキャリアも現実的に描けるようになりました。TASTE で踏み出した一歩が、私の人生の方向を大きく変えてくれました。



語学研修時、ホストファミリーと



現在の太田さん。学会発表にて

02



梶江佳乃さん
工学院 機械系
ライフエンジニアリング
コース修了

留学への挑戦が導いた気づきと未来 —留学がくれた成長の原点。

カリフォルニア大学バークレー校での研究インターンシップやソウル大学への派遣交換留学、MIT との語学交換プログラムを通して、様々なバックグラウンドを持つ学生と多くの時間を共に過ごし、相手の意見を理解し尊重すること、そして同時に自分の意見も相手に伝えることの重要性を体感しました。また留学先で研究に試行錯誤しながら取り組んだ経験から、自身の性格や得意、不得意の理解が深まり、自分の特性を活かせる場所を考える時間を持てました。世界中から集まる優秀な人々の人生プランを聞いたことも、自分のキャリアを世界レベルの視点で考えるきっかけとなりました。現在私は航空会社

で脱炭素化を推進しています。学部2年時に参加したシアトルへの超短期派遣プログラムでボーイング社を訪問し、現地社員と交流したことは、就職先選択の原体験となりました。留学先で習得した他者理解と自身の意見を発信する姿勢や、研究で培ったプレゼンテーション能力は、様々な世代の社員、そして社外のグローバル企業と連携する上で多に活かされています。留学準備は複雑で時間もかかりますが、「やって良かった!」の気持ちでいっぱいになるはずです。充実した支援制度を活用し、やりたいと思ったことは今すぐ実行に移してどんどん挑戦してみてください!



インターンシップ先の研究室にて



現在の職場にて

03



本間千枝さん
物質理工学院 材料系
材料コース修了

「行動に移すこと」で開けた海外での研究者の道

2018年に超短期海外派遣プログラム（シアトル）に参加し、その後、2022年には工・物・環学院合同学生国際交流プログラム（Summer Exchange Research Program: SERP）を通してアーヘン工科大学に約7か月間留学しました。現在は、2024年8月からアーヘン工科大学の電気材料工学研究所で博士研究員として勤務しています。研究活動を中心に、装置のメンテナンスや使用指導、修士学生の指導、講義演習の担当など、幅広い業務を行っています。博士課程の時に使用していた装置を現職でも主に使っていることもあり、同僚や学生から測定に関する相談を受けることがよくあります。海外という環境で自分の専門性が認められ、さまざまな人に頼られていると実感できることは、大きなやりがいにつながっています。仕事でつらいと感じることはほとんどなく、楽しく働けていますが、英語で自分の考えを100%伝えられず、もどかしい思いをす

ることはあります。将来は研究者になりたいという思いが心のどこかにあり、「いつか海外に挑戦しなければ」と考えていたこともあって、思い切って超短期海外派遣プログラムに応募しました。2週間弱という非常に短い期間でしたが、この経験は「海外で本格的に挑戦したい」という自分の気持ちを明確に自覚できた瞬間でした。また、SERP 留学中に研究に打ち込んだことを現在の上司に評価していただき、今のポジションにつながったので、学生時代のどの経験も今のキャリアには欠かせなかったと心から感じています。先輩へのアドバイスとして月並みではありますが、何より大切なのは「行動に移すこと」です。これは「とにかく留学すべき」という意味ではありません。留学生が多い講義を履修してみる、留学関連の説明会に参加してみるなど、小さな一歩でも踏み出すかどうかで、その後に見えてくる進路や選択肢は大きく変わります。みなさん頑張ってください!



実験室にて、学生に装置の使い方を指導する



研究室の恒例行事であるクリスマスマーケットでGlühwein（ホットワイン）を楽しむ